

ボルヘス邦語書誌

目 黒 聰 子

本書誌はラテン・アメリカの作家ボルヘス（Jorge Luis Borges）の邦語著作と参考文献の案内である。

構成は、A 略年譜 B 主要原著書年表 C 文献年表 D 著作目録 E 参考文献目録 F ボルヘスの著作から G 原著作名・邦訳著作名対照表 の7部よりなる。

（注） D 著作目録と、E 参考文献目録においては、発行年月○誌名の頭字、発行年月◎書名の頭字 によって記述を簡略化し、C 文献年表の該当月を参照すれば、どの雑誌、どの図書に掲載・収録されたかがわかるようになっている。

新聞記事は今回採録していない。＊印は凡例である。

A 略 年 譜

- 1899 8月24日、アルゼンチンの首都ブエノスアイレスに生まれる。
弁護士である傍ら、心理学の教師も勤め、小説・詩・翻訳等を手がける教養豊かな父親と、アルゼンチンの旧家の出で敬虔なカトリック教徒の母親、英国生まれで読書家の祖母、三歳下の聡明な妹ノラ（後にスペインの批評家ギリェルモ・デ・トーレと結婚）という家族のなかで、恵まれた幼年時代を過した。数千冊の蔵書に埋まった父親の書庫は、ボルヘスがもっとも好んだ場所で、ギリシャ神話、パートン版「千夜一夜」、ステューヴンソン、ルイス・キャロルの作品などを幼い頃から耽読する。
- 1906 7歳で初めての作品「ギリシャ神話」の要約を英語で、ドン・キホーテを真似た中世風の物語「運命の兜」をスペイン語で書く。9歳のとき、オスカー・ワイルドの「幸福な王子」をスペイン語に翻訳、地元の日刊紙に載る。
- 1914 父親の眼疾治療と兄妹の進学のため、一家はスイスに渡る。ジュネーヴで中・高等教育を受け、ラテン語・フランス語を学び、独学でドイツ語・イタリア語を習得。マラルメ、ランボー、ボードレール、カーライル、ホイットマン、チェスタートンなどを愛読、ショーペンハウアーの著作に親炙する。
- 1919 家族とともにスペインに移る。マジョルカ島からセビーリャ、マドリードを

- 訪れ、セビーリャで前衛的な文学運動「ウルトライズモ」に参加。その雑誌『ギリシャ』に初めて詩を発表する。
- 1921 帰国。本格的な創作活動に入る。雑誌「プリスマ」、「プロア」を友人達と創刊、次々に詩集を発表。
- 1937 初めて定職に就く。市立図書館ミゲル・カネ分館の一等補佐員から後に三等館員に昇進。
- 1946 ペロン大統領の独裁に抵抗したという理由で、図書館員から鶏と兎の検査官に左遷され、公務員を辞める。
- 1950 アルゼンチン作家協会会長に選出される。「アルゼンチン・イギリス文化協会」と「高等専門学校」の英米文学の講師となる。
- 1955 ペロン大統領の失脚によって、アルゼンチン国立図書館長に任命される。
- 1956 ブエノスアイレス大学英文学教授。国民文学賞受賞。
一族に伝わる遺伝的な眼病のため、この頃から盲目に近い状態となる。
- 1961 第一回国際出版社賞（フォルメントール賞）をサミュエル・ベケットと共に受賞。ボルヘスの作品が西欧に急速に広まる。
テキサス大学客員教授、北米各地で講演。
- 1963 3回目のヨーロッパ旅行へ。イングランド、スコットランドなどで講演。
- 1967 ハーバード大学詩学講師。
寡婦エルサ・アステテ＝ミジャンと結婚。3年後離婚。
- 1970 イスラエルに講演旅行。
- 1971 コロンビア大学、オックスフォード大学名誉博士。
- 1972 ミシガン大学名誉博士。
- 1973 メキシコに招かれ、ラテン・アメリカの代表的文学者アルフォンソ・レイエスの名を冠した賞を受ける。
- 1975 生涯ボルヘスの良き理解者で、盲目同然となったボルヘスのために口述筆記などの秘書役を勤めた母親が99歳で死去。
- 1978 イタリア、パリ、ジュネーヴを訪れる。
ソルボンヌ大学名誉博士。
- 1979 国際交流基金の招きで初めて来日。11月から約1ヵ月、東京、長野、京都、奈良を廻る。篠田一士氏ほか各氏と会談。（E 参考文献目録と補遺の'82.10参照）
- 1980 ニューヨークのペンクラブに招かれ8回目の合衆国へ。
- 現在 バルガス＝ジョサの訪問記（ボルヘスを尋ねて○すばる '81.12）が、ボルヘスの最近の消息を伝えている。

（この略年譜の作成には、E. Rodríguez Monegal の Jorge Luis Borges; a literary biography. '78などを参照した。）

B 主要原著書年表

* 主要原著書54冊の刊行年順リスト。その通し番号は、D 著作目録の部で原著作名の右端に記し、どの著書に最初に収録されたかを示した。

- [1] 1923 Fervor de Buenos Aires. Buenos Aires, Serantes.
- [2] 1925 Luna de enfrente. Buenos Aires, Proa.
- [3] 1925 Inquisiciones. Buenos Aires, Proa.
- [4] 1926 El tamaño de mi esperanza. Buenos Aires, Proa.
- [5] 1928 El lenguaje[idioma] de los argentinos. Buenos Aires, Gleizer.
- [6] 1929 Cuaderno San Martin. Buenos Aires, Proa.
- [7] 1930 Evaristo Carriego. Buenos Aires, Gleizer.
- [8] 1932 Discusión. Buenos Aires, Gleizer.
- [9] 1933 Las Kenningar. Buenos Aires, Colombo.
- [10] 1935 Historia universal de la infamia. Buenos Aires, Tor.
- [11] 1936 Historia de la eternidad. Buenos Aires, Viau y Zona.
- [12] 1941 El jardín de senderos que se bifurcan. Buenos Aires, Sur.
- [13] 1942 Seis problemas para don Isidro Parodi (en colab. con Adolfo Bioy Casares). Buenos Aires, Sur.
- [14] 1943 Poemas, 1922-1943. Buenos Aires, Losada.
- [15] 1944 Ficciones, 1935-1944. Buenos Aires, Sur.
- [16] 1946 Dos fantasías memorables (en colab. con Adolfo Bioy Casares). Buenos Aires, Oportet & Haereses.
- [17] 1946 Un modelo para la muerte (en colab. con Adolfo Bioy Casares). Buenos Aires, Oportet & Haereses.
- [18] 1947 Nueva refutación del tiempo. Buenos Aires, Oportet & Haereses.
- [19] 1949 El Aleph. Buenos Aires, Losada.
- [20] 1950 Aspectos de la literatura gauchesca. Montevideo, Número.
- [21] 1951 La muerte y la brújula. Buenos Aires, Emecé.
- [22] 1952 Otras inquisiciones, 1937-1952. Buenos Aires, Sur.
- [23] 1953 El Martín Fierro (en colab. con Margarita Guerrero). Buenos Aires, Columba.
- [24] 1954 Poemas, 1923-1953. Buenos Aires, Emecé.
- [25] 1955 Evaristo Carriego. 2. ed. Buenos Aires, Emecé.
- [26] 1955 Leopoldo Lugones. (en colab. con Benita Edelbert) Buenos Aires, Troquel.
- [27] 1957 Manual de zoología fantástica. (en colab. con Margarita Guerrero) México, Fondo de Cultura Económica.
- [28] 1958 Poemas, 1923-1958. Buenos Aires, Emecé.
- [29] 1960 Libro del cielo y del infierno. (en colab. con Adolfo Bioy Casares) Buenos Aires, Sur.
- [30] 1960 El Hacedor. Buenos Aires, Emecé.
- [31] 1961 Macedonio Fernández. Buenos Aires, Culturales Argentinas.

- 32 1964 El otro, el mismo. Buenos Aires, Emecé
- 33 1964 Obra poetica, 1923-1964. Buenos Aires, Emecé.
- 34 1965 Introducción a la literatura inglesa. (en colab. con Maria Esther Vázquez) Buenos Aires, Columba.
- 35 1965 Para las seis cuerdas. Buenos Aires, Emecé.
- 36 1966 Obra poetica, 1923-1966. Buenos Aires, Emecé.
- 37 1966 Literaturas germánicas medievales. (en colab. con Maria Esther Vázquez) Buenos Aires, Falbo Librero.
- 38 1967 Crónicas de Bustos Domecq. (en colab. con Adolfo Bioy Casares) Buenos Aires, Losada.
- 39 1967 Cuentos breves y extraordinarios. (en colab. con Adolfo Bioy Casares) Buenos Aires, Rueda.
- 40 1967 El libro de los seres imaginarios. (en colab. con Margarita Guerrero) Buenos Aires, Kier.
- 41 1969 El otro, el mismo, 1930-1967. Buenos Aires, Emecé.
- 42 1969 The book of imaginary beings. (ed. & translated by Norman Thomas di Giovanni) New York, Dutton.
- 43 1969 Elogio de la sombra, 1967-1969. Buenos Aires, Emecé.
- 44 1970 El informe de Brodie. Buenos Aires, Emecé.
- 45 1970 The Aleph and other stories, 1933-1969. New York, Dutton.
- 46 1971 El Congreso. Buenos Aires, El Archibrazo.
- 47 1972 El oro de los tigres. Buenos Aires, Emecé.
- 48 1975 El libro de arena. Buenos Aires, Emecé.
- 49 1975 La rosa profunda. Buenos Aires, Emecé.
- 50 1976 La moneda de hierro. Buenos Aires, Emecé.
- 51 1977 Roza y azul. Madrid, Sedmay.
- 52 1977 Historia de la noche. Buenos Aires, Emecé.
- 53 1979 Borges, oral. Buenos Aires, Emecé.
- 54 1980 Siete noches.

C 文 献 年 表

- * 著作, 参考文献を問わず, ボルヘスに関する邦語文献 132 点を発表年月順に排列。収録期間は 1954 (昭 29) 年 12 月から 1981 (昭 56) 年 12 月迄。○は雑誌名, ◎は図書名を表わす。[] 内は著作の翻訳を示す。p61—63 に補遺。
- '54. 12 ○秩序 4 文学グループ秩序 [不死の人 篠田一士訳]
- '56. 4 ○秩序 5 文学グループ秩序 [シナの迷宮 川村二郎訳]
- '59. 8 ◎邯鄲にて—現代ヨーロッパ文学論 篠田一士著 弘文堂
- (現代芸術論叢書) [不死の人 篠田訳] ほか
- '61. 10 ○幻想の美学 L. ヴァックス著 窪田般彌訳 白水社 (文庫クセジュ 310)
- '62. 7 ○朝日ジャーナル 4(28) 朝日新聞社 p42 迷路を追求するボルヘス
- '63. 2 ○文芸 2(2) 河出書房新社
- '63. 2 ◎世界短篇文学全集 9 南欧文学 近代 野上素一篇 集

- 英社〔刃傷の痕 林一郎訳〕
- '67. 10季刊世界文学 5 特集・パ
ロックと現代文学 富山房
〔アレフ 松崎芳隆訳〕
- '67. 70ヴァレリー全集 7 マラル
メ論叢 筑摩書房, 月報 6
〔象徴としてのヴァレリー
土岐恒二訳〕
- '68. 30不死の人 土岐恒二訳 白水
社 (新しい世界の短編6)
264p B6
- '68. 60世界文学全集 34 ボルヘス
サンチェス・フェルロシオ
デュ・モーリア 集英社〔伝
奇集, 不死の人 篠田一士
訳〕, 月報 38
- '68. 60フロベール全集 別巻 フ
ロベール研究 筑摩書房
〔『ブヴァールとベキュシェ』
擁護 土岐恒二訳〕
- '68. 90来るべき書物 M. ブランシ
ョ著 栗津則雄訳 現代思潮
社
- '69. 10現代人の思想 14 伝統と現
代 篠田一士編 平凡社〔『千
夜一夜』の翻訳者たち 土岐
恒二訳〕
- '69. 40言葉と小説—スーヴォー・ロ
マンの諸問題 J. リカルド
ゥー著 野村英夫訳 紀伊
国屋書店(現代文芸評論叢書)
- '69. 120都市 1 都市出版社〔書物
崇拜について 土岐恒二訳〕
- '69. 120ユリイカ 1(6) 青土社
- '70. 40ユリイカ 2(4) 青土社〔ボ
ルヘス詩抄 土岐恒二訳〕
- '70. 60ユリイカ 2(6) 青土社
- '70. 60セバスチャン・ナイトの真実
の生涯 V. ナボコフ著 富士
川義之訳 講談社
- '70. 70海 14 中央公論社
- '70. 80ユリイカ 2(9) 特集・ホル
ヘ・ルイス・ボルヘス 青土
社〔ウォルト・ホイットマン
小論 土岐恒二訳〕ほか
- '71. 60パイディア(季刊) 10 竹内
書店〔カバラ擁護論, 邪教徒
パシレイデス擁護論 土岐恒
二訳〕
- '71. 110文芸 10(2) 河出書房新社
- '72. 60国文学 臨増17(18) 学燈社
- '73. 10ちくま 45 筑摩書房〔完全
な図書館 土岐恒二訳〕
- '73. 50ボルヘスとの対話 R. バー
ギン著 柳瀬尚紀訳 晶文社
(晶文選書45) 231p B6
- '73. 80ユリイカ 5(9) 青土社〔円
環的時間 土岐恒二訳〕
- '73. 80作家の仕事場 M. シャプサ
ル編 朝比奈誼訳 晶文社
(晶文選書49)
- '73. 80万有百科事典 1 文学 小
学館
- '73. 100言語(月刊) 2(10) 大修館
書店
- '74. 10幻想と怪奇 1(5) 歳月社
- '74. 10プロディーの報告書 鼓直訳
白水社(新しい世界の文学64)
207p B6
- '74. 2. 220週刊朝日 79(7) 朝日新
聞社
- '74. 30早稲田文学 6(3) 早稲田文
学会
- '74. 30ラテン・アメリカ文化と文
学—苦悩する知識人 J. フラ
ンコ著 吉田秀太郎訳 新世
界社(ラテン・アメリカ研究)
- '74. 60言葉と物—人文科学の考古学
M. フーコー著 渡辺一民・佐
々木明訳 新潮社
- '74. 70海 6(7) 63 中央公論社〔ボ
ルヘスの短篇と評論 鼓直,
土岐恒二訳〕
- '74. 70ユリイカ 臨増6(9) 青土社
〔謎を映す鏡 土岐恒二訳〕
- '74. 100波 57 新潮社
- '74. 110波 58 新潮社
- '74. 110ボルヘスとわたし—自撰短篇

- 集 牛島信明訳 新潮社
255p B6
- '74. 11◎ブリタニカ国際大百科事典
小項目事典 6 ティビーエ
ス・ブリタニカ
- '74. 12◎幻獣辞典 ボルヘス+M. ゲ
レロ著 柳瀬尚紀訳 晶文社
225, vip B6
- '75. 1◎SFマガジン 16(1)194 早川
書房
- '75. 2◎カフカ論集 城山良彦・川村
二郎編 国文社〔カフカとそ
の先駆者たち 藤川芳朗訳〕
- '75. 4◎伝奇集 篠田一士訳 集英社
(現代の世界文学) 236p
B6
- '75. 5◎mème(季刊) 1 エディン
オンエパーヴ〔城壁と書物
土岐恒二訳〕
- '75. 5◎創造者 鼓直訳 国書刊行会
(世界幻想文学大系15) 251p
B6, 月報 1
- '75. 5◎ブリタニカ国際大百科事典
大項目事典 18 ティビーエ
ス・ブリタニカ
- '75. 7◎mème(季刊)/borges 2
エディンオンエパーヴ〔パス
カルの球体 土岐恒二訳〕ボ
ルヘス書誌抄ほか
- '75. 10◎文芸 14(10) 河出書房新社
- '75. 12◎本の本 1(2) ボナンザ
- '76. 6◎悪党列伝 中村健二訳 晶文
社 160p B6
- '76. 7◎ボルヘス怪奇譚集 ボルヘス
+A. ビオイニカサレス著 柳
瀬尚紀訳 晶文社 165p B6
- '76. 9◎中央公論 第91年9号 中央
公論社
- '76. 12◎遊び時間 丸谷才一著 大和
書房
- '77. 2◎エピステーメー 3(2) 特集
・カフカ不在のオリジン 朝
日出版社〔《変身》序文 柳瀬
尚紀訳〕
- '77. 2◎鏡のテオオーリア 多田智満子
著 大和書房
- '77. 4◎ユリイカ 9(4) 特集・メル
ヴィル 青土社〔『バートル
ビー』序 土岐恒二訳〕
- '77. 5◎世界の小説一戦後30年 朝日
出版社〔迷路のイメージ・ボ
ルヘスとの対話〕
- '77. 6◎プストスノドメックのクロニ
クル ボルヘス+A. ビオイニ
カサレス著 斎藤博士訳
国書刊行会(ラテンアメリカ
文学叢書1) 217p B6
- '77. 6◎読書のユートピア 清水徹著
中央公論社(中公叢書)
- '77. 7◎エピステーメー 3(6) 特集
・空間 朝日出版社〔パスカ
ル 土岐恒二訳〕
- '77. 9◎プエノスアイレスの熱狂 鼓
直・木村栄一訳 大和書房
254p B6
- '78. 2◎現代詩手帖 21(2) 思潮社
- '78. 3◎海 10(3) 中央公論社
- '78. 4◎エピステーメー 4(3) 特集
・映画狂いーイメージのア
ナルシー 朝日出版社〔フィ
ルム 鼓直訳〕
- '78. 5◎現代詩手帖 21(5) 思潮社
- '78. 5◎世界の文学 9 ボルヘス
篠田一士訳 集英社 333p
B6〔伝奇集 エル・アレフ
汚辱の世界史 ばら色の街角
の男 エトセトラ〕, 月報 27
- '78. 6◎潮 229 潮出版社
- '78. 7◎カイエ 1 冬樹社〔ボルヘ
ス小詩集 鼓直訳〕
- '78. 7◎ちくま 11 筑摩書房
- '78. 7◎国民百科大事典 12 平凡社
- '78. 8◎50冊の本 1(4) 玄海出版
- '78. 10◎ノンセンソロギカー擬態のテ
クスチュアリティ 柳瀬尚紀
著 朝日出版社(エピステー
メー叢書)
- '78. 11◎カイエ 1(5) 特集・ボルヘ

- スとラテンアメリカ文学 冬樹社〔他者 篠田一土訳 ほか〕
- '78.11◎エバリスト・カリエゴ 岸本静江訳 国書刊行会(ラテンアメリカ文学叢書9) 203p B6
- '78.11◎キリスト教文学の世界 18 バレーラ ボルヘス 鼓直訳 主婦の友社 256p A5〔伝奇集〕
- '78.11◎ボルヘスとの対話 G.シャルボニエ著 鼓直・野谷文昭訳 国書刊行会
- '78.11◎世界のSF文学・総解説 自由国民社(名著・総解説ダイヤル No. 7)
- '78.12○世界 397 岩波書店
- '79. 1○すばる 臨増1979.1 集英社〔会議 篠田一土訳〕
- '79. 1○21世紀世界百科 カラーマ 9 主婦の友社 p 2519 ボルヘス
- '79. 2○地下演劇 13 天井浅敷〔はみだした男 ボルヘス+ビオイニカサーレス著 一丸禎子訳〕ほか
- '79. 2-12○現代思想 7(2)-(12) 青土社
- '79. 3○カイエ 2(3) 冬樹社〔うんざりする映画、『市民ケーン』ジーキル博士とエドワード・ハイド氏の変身『ジーキル博士とハイド』鼓直訳〕
- '79. 3○潮 238 潮出版社
- '79. 4○朝日ジャーナル 21(13) 朝日新聞社
- '79. 5○ポケットの本機の本 丸谷才一編 新潮社(楽しみと冒険 10)〔読者 鼓直訳〕
- '79. 5○西と東の狂言綺語 吉田正俊著 大修館書店
- '79. 7○ユリイカ 11(9) 青土社
- '79. 8○暗殺のオペラプログラム
- ベルトルッチ監督 (株)フランス映画社(原作:裏切り者と英雄のテーマ)
- '79. 9○カイエ 2(9) 冬樹社〔エドガー・アラン・ポー 土岐恒二訳〕ほか
- '79. 9○言葉の王国へ 高橋陸郎著 小沢書店
- '79. 9○世界幻想作家事典 荒俣宏著 国書刊行会
- '79.10○カイエ 2(10) 特集・ラテン・アメリカ文学の現在 冬樹社〔フローベールと彼の模範的運命 土岐恒二訳〕
- '79.11○読書人の周辺 紀田順一郎著 実業之日本社
- '80. 1○すばる 2(1) 集英社
- '80. 1○ラテン・アメリカ時報(旬刊) 23(1)856 ラテン・アメリカ協会(対談)
- '80. 2○遊 1011号 工作舎
- '80. 2○海 12(2) 中央公論社(対談)ほか
- '80. 2○遊び時間 2 丸谷才一著 大和書房
- '80. 3○朝日ジャーナル 22(9) 朝日新聞社
- '80. 4○国際交流 23 国際交流基金(対談)
- '80. 4○ソムニウム[季刊] 2 (京都)エディション・アルシーブ十慧星倶楽部〔バークリーの十字路 斎藤博士訳〕
- '80. 4○ボルヘスを読む 篠田一土ほか著 国書刊行会(ラテンアメリカ文学叢書13)
- '80. 6○城と牢獄 渋沢竜彦著 青土社
- '80. 6○そして、自分の旅へ 森本哲郎著 ダイアモンド社
- '80. 6○言語の都市—現代アメリカ小説 T.タナー著 佐伯彰一・武藤脩二訳 白水社
- '80. 7○ユリイカ 12(8) 青土社〔謎

- を映す鏡 土岐恒二訳]
- '80. 7〇諸君 12(7) 文芸春秋
- '80. 9〇すばる 2(9) 集英社
- '80. 11〇ユリイカ 12(12) 特集・シャーロック・ホームズ 青土社〔推理小説 木村栄一訳〕
- '80. 11〇不死の人 土岐恒二訳 白水社 (世界の文学) 256p B6
注: '68. 3 の改訂版
- '80. 12〇青春と読書 69 集英社
- '80. 12〇砂の本 篠田一士訳 集英社 (現代の世界文学) 169p B6
- '81. 1〇脱領域の知性 G. スタイナー著 由良君美他訳 河出書房新社 (現代思想選 9) 初版 '72. 7
- '81. 1〇奴隷の寓話 小島信夫著 潮出版社 (私の作家遍歴 3)
- '81. 4〇ユリイカ 13(4) 青土社〔書物 木村栄一訳〕
- '81. 4-10〇イベロアメリカ研究 3(1-2) 上智大学イベロアメリカ

- 研究所
- '81. 6〇幻想の解読 天沢退二郎著 筑摩書房
- '81. 7〇世界のオカルト文学幻想文学総解説 自由国民社
- '81. 8〇夢の言葉・言葉の夢 川又千秋著 奇想天外社
- '81. 9〇叢書文化の現在 10 書物=世界の隠喩 大江健三郎ほか編 岩波書店
- '81. 10〇ユリイカ 13(12) 青土社
- '81. 10〇文学界 35(10) 文芸春秋
- '81. 10〇月蝕機関説 寺山修司著 冬樹社
- '81. 10〇遊び時間 丸谷才一著 中央公論社 (中公文庫 A103-3)
- '81. 11〇現代詩手帖 24(11) 特集・図書館幻想 思潮社
- '81. 12〇すばる 3(12) 集英社
- '81. 12〇聖なる彼方へーわが魂の遍歴 日野啓三著 (京都) PHP 研究所

D 著 作 目 録

* 詩・小説・随筆・評論の別なく邦訳著作名を五十音順に排列。見出しとしての邦訳著作名の次に原著名を添えた。

* 記述は、邦訳著作名 原著名 B 主要原著書年表通し番号 翻訳者名の次に、刊行年月〇誌名の頭字一字掲載の始めのページ または、刊行年月〇書名の頭字一字 収録始めのページまたは総ページ。

【主要な翻訳者の氏名一覧】

牛島信明 岸本静江 木村栄一 斎藤博士 篠田一士 鼓直 土岐恒二 中村健二 柳瀬尚紀

愛の先駆け Amorosa anticipación ②
牛島訳 '75. 7〇m p 64
アヴェロエスの探求
La busca de Averroes ⑩

土岐訳 '68. 3〇不 p 137
〃 '80. 11〇不 p 131
篠田訳 '78. 5〇世 p 195
悪党列伝 Historia universal de la infamia ⑩
中村訳 '76. 6〇悪 160p
〃 初版序 Prólogo a la primera edición
中村訳 '76. 6〇悪 p 9
〃 一九五四年版序 Prólogo a la edición de 1954
中村訳 '76. 6〇悪 p 11
アステリオーンの家
La casa de Asterión ⑩
土岐訳 '68. 3〇不 p 103
〃 '80. 11〇不 p 97
篠田訳 '78. 5〇世 p 178
アドロゲ Adrogué ⑩
鼓訳 '75. 5〇創 p 214

アベリーノ・アレドンド

Avelino Arredondo 48

篠田訳 '80.12○砂 p 135

 アベンハカーン・エル・ボハリー、お
のれの迷宮にて死す＝～迷宮に死
す Abenjacán el Bojarí, muerto
en su laberinto 19

土岐訳 '68. 3○不 p 183

// '80.11○不 p 177

篠田訳 '78. 5○世 p 216

雨 La lluvia 30

鼓訳 '75. 5○創 p 156

争い、El duelo 44

鼓訳 '74. 1○ブ p 111

アリオストとアラビア人たち

Ariosto y los árabes 30

鼓訳 '75. 7○創 p 194

ある会話についての会話

Diálogo sobre un diálogo 30

鼓訳 '74. 7○海 p 204

// '75. 5○創 p 26

ある芸術の開花 Ecllosiona un arte 38

斎藤訳 '77. 6○ブ p 93

あるサクソン人（西暦紀元449年）

Un sajón (449 A. D.) 32

鼓・木村訳 '77. 9○ブ p 61

 あるサクソン人の詩人に A un poeta
sajón 32

鼓・木村訳 '77. 9○ブ p 91

 アルゼンチン作家と伝統 El escritor
argentino y la tradición 8

牛島訳 '75. 7○m p 8

「アルゼンチン人の不運な個人主義」

Nuestro pobre individualismo 22

鼓・木村訳 '77. 9○ブ p 187

 アル・ムターシムを求めて El acer-
camiento a Almotásim 111545

篠田訳 '68. 6○世 p 23

// '75. 4○伝 p 34

// '78. 5○世 p 26

牛島訳 '74.11○ボ p 36

鼓訳 '78.11○キ p 166

// 著者注釈

牛島訳 '74.11○ボ p 217

ある老詩人に捧げる

A un viejo poeta 30

鼓訳 '75. 5○創 p 160

アレフ El Aleph 1945

松崎芳隆訳 '67. 1○世 p 206

土岐訳 '68. 3○不 p 223

// '80.11○不 p 217

牛島訳 '74.11○ボ p 9

篠田訳 '78. 5○世 p 234

// 著者注釈

牛島訳 '74.11○ボ p 213

 アングロ・サクソン語の文法研究を始
めるに際して Al iniciar el estu-
dio de la gramática anglosajona
30

鼓訳 '75. 5○創 p 206

衣裳革命 I-II Vestuario I-II 38

斎藤訳 '77. 6○ブ p 139

異端のミサ Las Misas Herejes 25

岸本訳 '78.11○エ p 53

一枚の貨幣に捧げる

A una moneda 32

鼓・木村訳 '77. 9○ブ p 104

祈り Una oración 43

鼓・木村訳 '77. 9○ブ p 122

 入口の男 El hombre en el umbral
1945

牛島訳 '74.11○ボ p 98

// 著者注釈

牛島訳 '74.11○ボ p 232

インクの鏡 El espejo de tinta 10

中村訳 '76. 6○悪 p 143

篠田訳 '78. 5○世 p 318

陰謀 La trama 30

鼓訳 '74. 7○海 p 209

// '75. 5○創 p 60

隠喩 La metáfora 11

土岐訳 '78.11○カ p 140

 ウォリアム・ベックフォードの『ヴァ
テック』について Sobre el “Va-
thek” de William Beckford 22

土岐訳 '74. 7○海 p 231

ウォルト・ホイットマン小論

Nota sobre Walt Whitman 8

土岐訳 '70. 8〇ユ p 100
 失われしを嘆く勿れ Lo que falto no
 daña 38
 斎藤訳 '77. 6〇ブ p 119
 裏切り者と英雄のテーマ Tema del
 traidor y del héroe 15
 篠田訳 '68. 6〇世 p 87
 // '75. 4〇伝 p 136
 // '78. 5〇世 p 93
 鼓訳 '78. 11〇キ p 218
 ウルビーナの兵士
 Un soldado de Urbina 32
 牛島訳 '75. 7〇m p 71
 ウルリーケ Ulrica 48
 篠田訳 '80. 1〇す p 201
 // '80. 12〇砂 p 23
 ウンドル Undr 48
 篠田訳 '80. 12〇砂 p 99
 エドガー・アラン・ポー
 Edgar Allan Poe 32
 土岐訳 '79. 9〇力 p 80
 エドワード・フィッツジェラルドの謎
 El enigma de Edward Fitzge-
 rald 22
 中村訳 '78. 11〇力 p 144
 エバリスト・カリエゴ
 Evaristo Carriego 25
 岸本訳 '78. 11〇エ 203p
 // 序文 Prólogo
 岸本訳 '78. 11〇エ p 9
 // 言明 Declaración
 岸本訳 '78. 11〇エ p 13
 『エバリスト・カリエゴ全詩集』出版に
 あたっての序文 Prólogo a una
 edición de las poesías completas
 de Evaristo Carriego 25
 岸本訳 '78. 11〇エ p 143
 エバリスト・カリエゴの生涯
 Una vida de Evaristo Carriego
 25
 岸本訳 '78. 11〇エ p 33
 エマヌエル・スウェデンボルグ
 Emanuel Swedenborg 32
 鼓・木村訳 '77. 9〇ブ p 96

エル・アレフ El Aleph 19
 篠田訳 '78. 5〇世 p 133
 // エピローグ Epílogo
 篠田訳 '78. 5〇世 p 248
 エルビラ・デ・アルベアル Elvira de
 Alvear 30
 鼓訳 '75. 5〇創 p 140
 エレジー Elegía 32
 牛島訳 '75. 7〇m p 73
 円環的時間 El tiempo circular 11
 土岐訳 '73. 8〇ユ p 76
 円環的夜 La noche cíclica 32
 土岐訳 '70. 4〇ユ p 80
 円環の廃墟 Las ruinas circulares
 15 45
 篠田訳 '68. 6〇世 p 37
 // '75. 4〇伝 p 57
 // '78. 5〇世 p 41
 牛島訳 '74. 11〇ボ p 44
 鼓訳 '78. 11〇キ p 178
 // 著者注釈
 牛島訳 '74. 11〇ボ p 219
 円盤 El disco 48
 篠田訳 '80. 12〇砂 p 145
 エンマ・ツンツ Emma Zunz 19
 土岐訳 '68. 3〇不 p 91
 // '80. 11〇不 p 85
 篠田訳 '78. 5〇世 p 172
 お預けをくった魔術師
 El brujo postergado 10
 篠田訳 '78. 5〇世 p 315
 王宮の寓話 Parábola del palacio 30
 鼓訳 '74. 7〇海 p 212
 // '75. 5〇創 p 90
 王ヘンギスト Hengist cyning 32
 鼓・木村訳 '77. 9〇ブ p 84
 覆われた鏡 Los espejos verados 30
 鼓訳 '74. 7〇海 p 205
 // '75. 5〇創 p 30
 汚辱の世界史 Historia universal de
 la infamia 10
 篠田訳 '78. 5〇世 p 251
 // 初版序 Prólogo a la primera
 edición

篠田訳 '78. 5〇世 p 253
 // 一九五四年版序 Prólogo a la edición de 1954
 篠田訳 '78. 5〇世 p 254
 オスカー・ワイルド論 Sobre Oscar Wilde 22
 鼓・木村訳 '77. 9〇ブ p 190
 会議 El Congreso 48
 篠田訳 '79. 1〇す p 315
 // '80. 12〇砂 p 31
 街路 Las calles 1
 牛島訳 '75. 7〇m p 59
 ガウチョ Los gauchos 43
 鼓・木村訳 '77. 9〇ブ p 116
 鏡 Los espejos 30
 土岐訳 '70. 4〇ユ p 82
 鼓訳 '75. 5〇創 p 134
 鏡と仮面 El espejo y la máscara 48
 篠田訳 '80. 12〇砂 p 91
 かくも多様なビラセーコ
 Ese polifacético Vilaseco 38
 斎藤訳 '77. 6〇ブ p 127
 学問の厳密さ Del rigor en la ciencia
 30改 10
 柳瀬訳 '76. 7〇ボ p 139
 学問の厳密さについて Del rigor en la ciencia
 鼓訳 '75. 5〇創 p 224
 中村訳 '76. 6〇悪 p 153
 篠田訳 '78. 5〇世 p 323
 かくれた奇蹟 = 隠れた奇蹟
 El milagro secreto 15
 篠田訳 '68. 6〇世 p 101
 // '75. 4〇伝 p 160
 鼓訳 '78. 11〇キ p 230
 刀の形 La forma de la espada 15
 篠田訳 '68. 6〇世 p 82
 // '75. 4〇伝 p 127
 // '78. 5〇世 p 87
 鼓訳 '78. 11〇キ p 214
 カバラ擁護論 Una vindicación de la Cábala 8
 土岐訳 '71. 6〇パ p 34
 カフカとその先駆者たち

Kafka y sus precursores 22
 土岐訳 '74. 7〇海 p 229
 藤川訳 '75. 2〇カ p 276
 神の書跡 La escritura del Dios 19
 土岐訳 '68. 3〇不 p 173
 // '80. 11〇不 p 167
 篠田訳 '78. 5〇世 p 211
 仮面の染物師 メルヴのハキム
 El tintorero enmascarado
 Hákim de Merv 10
 篠田訳 '78. 5〇世 p 291
 完全な図書館 La biblioteca total
 [Sur, No. 59, 1939 掲載]
 土岐訳 '73. 1〇ち p 14
 寛大な敵 El enemigo generoso 30
 改 10
 中村訳 '76. 6〇悪 p 151
 篠田訳 '78. 5〇世 p 322
 寛大な敵 El enemigo generoso
 30改 10
 鼓訳 '75. 5〇創 p 228
 黄色い薔薇 Una rosa amarilla 30
 鼓訳 '74. 7〇海 p 210
 // '75. 7〇創 p 66
 記憶の人・フネス
 Funes el memorioso 15
 篠田訳 '68. 6〇世 p 75
 // '75. 4〇伝 p 115
 // '78. 5〇世 p 79
 鼓訳 '78. 11〇キ p 208
 期待 La espera 19
 土岐訳 '68. 3〇不 p 203
 // '80. 11〇不 p 197
 キーツの小夜啼き鳥 El ruiseñor de Keats 22
 鼓・木村訳 '77. 9〇ブ p 200
 騎馬民族考 Historia de jinetes 25
 岸本訳 '78. 11〇エ p 129
 肝魂信仰 El culto del coraje 25 45
 牛島訳 '74. 11〇ボ p 105
 // 著者注釈
 牛島訳 '74. 11〇ボ p 234
 恐怖の救済者 ラザレス・モレル
 El atroz redentor Lazarus

Morell 10
 篠田訳 '78. 5◎世 p 259
 狂態 El estupor 47
 鼓・木村訳 '77. 9◎ブ p 132
 吉良上野介—傲慢な式部官長
 El incivil Maestro de Ceremonias Kotsuké no Suké 10
 中村訳 '76. 6◎悪 p 83
 キローガ將軍 馬車で死に向かう
 Al general Quiroga va en coche al muerte 2
 鼓・木村訳 '77. 9◎ブ p 32
 グヤキル Guayaquil 44
 鼓訳 '74. 1◎ブ p 137
 寓意から小説へ De las alegorías a las novelas 22
 土岐訳 '74. 7◎海 p 234
 クロムエル將軍麾下の一大尉の肖像
 に A la efígie de un capitán de los ejércitos de Cromwell 30
 鼓訳 '75. 5◎創 p 158
 群虎黄金 El oro de los tigres 47
 鼓訳 '78. 7◎力 p 224
 結社の原理 El gremialista 38
 斎藤訳 '77. 6◎ブ p 77
 決闘 El culto del coraje 25
 鼓・木村訳 '77. 9◎ブ p 154
 岸本訳 '78. 11◎エ p 157
 結末 El fin 15
 篠田訳 '68. 6◎世 p 112
 " '75. 4◎伝 p 178
 " '78. 5◎世 p 120
 鼓訳 '78. 11◎キ p 239
 限界 Límites 30
 鼓訳 '75. 5◎創 p 226
 現実の措定 La postulación de la realidad 8
 鼓・木村訳 '77. 9◎ブ p 168
 幻獣辞典 El libro de los seres imaginarios→The book of imaginary beings 42
 柳瀬訳 '74. 12◎幻 225 p
 " 序 Prólogo
 柳瀬訳 '74. 12◎幻 p 13

" 一九六七年版序 Prólogo a la edición de 1967
 柳瀬訳 '74. 12◎幻 p 14
 " 一九五七年版序 Prólogo a la edición de 1957
 柳瀬訳 '74. 12◎幻 p 15
 言明 Declaración 25
 岸本訳 '78. 11◎エ p 13
 古典について Sobre los clásicos 22
 鼓・木村訳 '77. 9◎ブ p 230
 コヨーテに捧げる Al coyote 47
 鼓訳 '78. 7◎力 p 223
 コールリッジの花
 La flor de Coleridge 22
 大熊栄訳 '75. 7◎m p 74
 コールリッジの夢
 El sueño de Coleridge 22
 大熊栄訳 '75. 7◎m p 77
 ゴーレム El golem 32
 鼓・木村訳 '77. 9◎ブ p 64
 こんな梗概も Un posible resumen 25
 岸本訳 '78. 11◎エ p 103
 ザーヒル El Zahir 19
 土岐訳 '68. 3◎不 p 155
 " '80. 11◎不 p 149
 篠田訳 '78. 5◎世 p 203
 サロニカの鍵 Una llave en Salónica 32
 鼓・木村訳 '77. 9◎ブ p 54
 散策 Caminata 1
 鼓・木村訳 '77. 9◎ブ p 19
 三十派 La Secta de los Treinta 48
 篠田訳 '80. 12◎砂 p 75
 斬新なる観点 Un enfoque flamante 38
 斎藤訳 '77. 6◎ブ p 151
 サン・ファン之夜 La noche de San Juan 1
 鼓・木村訳 '77. 9◎ブ p 22
 サン・マルティン広場 La Plaza San Martín 1
 鼓・木村訳 '77. 9◎ブ p 13
 詩学階梯 Gradus ad parnassum 38

斎藤訳 '77. 6◎ブ p 101
詞華集に採られている小詩人に A un poeta menor de la Antología 32
鼓・木村訳 '77. 9◎ブ p 50
敷居の上の男 El hombre en el umbral 19
土岐訳 '68. 3◎不 p 211
〃 '80. 11◎不 p 205
篠田訳 '78. 5◎世 p 229
ジーキル博士とエドワード・ハイド氏 El doctor Jekyll y Edward Hyde
鼓訳 '79. 3◎力 p 141
地獄篇、第一歌、三二行 Inferno, I, 32 30
鼓訳 '75. 5◎創 p 110
死後の神学者 Un teólogo en la muerte 10
中村訳 '76. 6◎悪 p 125
篠田訳 '78. 5◎世 p 309
死者たちの会話 Diálogo de muertos
鼓訳 '74. 7◎海 p 207
〃 '75. 5◎創 p 50
詩人その名声を告白する El poeta declara su nombradía 30
鼓訳 '75. 5◎創 p 227
自伝風エッセー Profiles: Autobiographical notes 45
牛島訳 '74. 11◎ボ p 149
四循環 Los cuatro ciclos 47
鼓・木村訳 '77. 9◎ブ p 134
死とコンパス La muerte y la brújula 15 45
篠田訳 '68. 6◎世 p 91
〃 '75. 4◎伝 p 142
〃 '78. 5◎世 p 97
牛島訳 '74. 11◎ボ p 51
鼓訳 '78. 11◎キ p 221
〃 著者注釈
牛島訳 '74. 11◎ボ p 221
シナの迷宮 El jardín de senderos que se bifurcan 15
川村二郎訳 '63. 2◎文 p 94
死人 El muerto 19
土岐訳 '68. 3◎不 p 43

自分の迷宮で死んだアベンハカーン・エル・ボハリー Abenjacán el Bojarí, muerto en su laberinto 19 45
牛島訳 '74. 11◎ボ p 87
〃 著者注釈
牛島訳 '74. 11◎ボ p 230
詩法 Arte poética 30
土岐訳 '70. 4◎ユ p 85
鼓訳 '75. 5◎創 p 220
市民ケーン〔映画論〕 Citizen Kane
鼓訳 '79. 3◎力 p 140
邪教徒バシレイデス擁護論 Una vindicación del falso Basíledes 8
土岐訳 '71. 6◎パ p 38
じゃま者 La intrusa 44 改 19 45
鼓訳 '74. 1◎ブ p 19
牛島訳 '74. 11◎ボ p 117
〃 著者注釈
牛島訳 '74. 11◎ボ p 240
拾遺稿 Páginas complementarias 25
岸本訳 '78. 11◎エ p 107
十三世紀のある詩人 Un poeta del siglo XIII 32
鼓・木村訳 '77. 9◎ブ p 56
瞬間 El instante 32
鼓・木村訳 '77. 9◎ブ p 98
象棋 Ajedrez 30
鼓訳 '75. 5◎創 p 130
象徴としてのヴァレリー Valéry como símbolo 22
土岐訳 '67. 7◎ヴ 月 p 7
証人 El testigo 30
鼓訳 '74. 7◎海 p 210
〃 '75. 5◎創 p 70
城壁と書物 La muralla y los libros 22
土岐訳 '75. 5◎m p 2
初期のウェルズ El primer Wells 22
鼓・木村訳 '77. 9◎ブ p 195
ジョセフ・コンラッドの一冊の本のなかで発見された手稿 Manuscrito hallado en un libro de Joseph Conrad 2

鼓・木村訳 '77. 9〇ブ p 37
 書物 El libro 53
 木村訳 '81. 4〇ユ p 190
 書物崇拜について Del culto de los libros 22
 土岐訳 '69. 12〇都 p 238
 神学者たち Los teólogos 19
 土岐訳 '68. 3〇不 p 55
 // '80. 11〇不 p 49
 篠田訳 '78. 5〇世 p 156
 新自然主義 Naturalismo al día 38
 斎藤訳 '77. 6〇ブ p 47
 死んだ男 El muerto 19/45
 牛島訳 '74. 11〇ボ p 71
 篠田訳 '78. 5〇世 p 151
 土岐訳 '80. 11〇不 p 37
 // 著者注釈
 牛島訳 '74. 11〇ボ p 226
 人智の思い及ばぬこと
 There are more things 48
 篠田訳 '80. 12〇砂 p 63
 神道 Shinto [Le Prese, 1980 掲載]
 鼓訳 '80. 9〇す p 218
 推測の詩 Poema conjetural 32
 牛島訳 '75. 7〇m p 65
 推理小説 El cuento policial 53
 木村訳 '80. 11〇ユ p 114
 スサナ・ソーカ Susana Soca 30
 鼓訳 '75. 5〇創 p 144
 すでに若からざる人に A quien ya no es joven 32
 鼓・木村訳 '77. 9〇ブ p 78
 砂時計 El reloj de arena 30
 鼓訳 '75. 5〇創 p 124
 砂の本 El libro de arena 48
 篠田訳 '80. 12〇砂 p 151
 // 後書き
 篠田訳 '80. 12〇砂 p 161
 スノリ・ストルルソン (1179~1241)
 Snorri Sturluson (1179-1241) 32
 鼓・木村訳 '77. 9〇ブ p 94
 スペイン España 32
 牛島訳 '75. 7〇m p 72
 世界劇場 El teatro universal 38

斎藤訳 '77. 6〇ブ p 85
 セサル・パラディオンのオマージュ
 Homenaje a César Paladión 38
 斎藤訳 '77. 6〇ブ p 17
 絶対の探求 En búsqueda del Absoluto 38
 斎藤訳 '77. 6〇ブ p 37
 セルバンテスとドン・キホーテの寓話
 Parábola de Cervantes y de Quijote 30
 鼓訳 '74. 7〇海 p 211
 // '75. 5〇創 p 82
 一九二〇年代
 Mil novecientos veintitantos 30
 鼓訳 '75. 5〇創 p 186
 一九二八年五月二十日
 Mayo 20, 1928 43
 鼓・木村訳 '77. 9〇ブ p 110
 一九四四年八月二三日の覚書き
 Anotación al 23 de agosto de 1944 22
 鼓・木村訳 '77. 9〇ブ p 206
 一九六〇年代の頌歌 Oda compuesta en 1960 30
 鼓訳 '75. 5〇創 p 188
 戦士と囚われの女の物語 Historia del guerrero y de la cautiva 19
 土岐訳 '68. 3〇不 p 73
 // '80. 11〇不 p 67
 篠田訳 '78. 5〇世 p 164
 選択する眼 El ojo selectivo 38
 斎藤訳 '77. 6〇ブ p 111
 一八九〇年代のある亡霊について
 Alusión a una sombra de mil ochocientos noventa y tantos 30
 鼓訳 '75. 5〇創 p 170
 『千夜一夜』の翻訳者たち
 Las traductores de las 1001 Noches 11
 土岐訳 '69. 1〇現 p 151
 創造者 El hacedor 30
 鼓訳 '74. 7〇海 p 202
 // '75. 5〇創 p 14
 牛島訳 '74. 11〇ボ p 114

- // エピローグ Epílogo
 鼓訳 '75. 5〇創 p 234
 // 著者注釈
 牛島訳 '74. 11〇ボ p 237
 贈賄 El soborno 48
 篠田訳 '80. 12〇砂 p 123
 存在は知覚 Esse est percipi 38
 斎藤訳 '77. 6〇ブ p 157
 第四元素の歌 Poema del cuarto elemento 32
 土岐訳 '70. 4〇ユ p 81
 他者 El otro 32
 鼓・木村訳 '77. 9〇ブ p 70
 他者 El otro 48
 篠田訳 '78. 11〇力 p 62
 // '80. 12〇砂 p 7
 タデオ・イシドロ・クルスの生涯
 (1829-1874) Biografía de Tadeo
 Isidoro Cruz (1829-1874) 19 45
 土岐訳 '68. 3〇不 p 83
 // '80. 11〇不 p 77
 牛島訳 '74. 11〇ボ p 65
 篠田訳 '78. 5〇世 p 168
 // 著者注釈
 牛島訳 '74. 11〇ボ p 223
 棚上げされた魔法使
 El brujo postergado 10
 野村英夫訳 '69. 4〇言 p 33
 タンゴ El tango 32
 牛島訳 '75. 7〇m p 57
 タンゴの歴史 Historia de tango 25
 鼓・木村訳 '77. 9〇ブ p 141
 岸本訳 '78. 11〇エ p 149
 断章 Fragmento 32
 鼓・木村訳 '77. 9〇ブ p 87
 鍛造 Forjadura 1
 牛島訳 '75. 7〇m p 63
 短刀 El puñal 25
 岸本訳 '78. 11〇エ p 139
 抽象芸術 Un arte abstracto 38
 斎藤訳 '77. 6〇ブ p 67
 彫像の部屋 La cámara de las estatuas 10
 篠田訳 '78. 5〇世 p 311

- 彫像の間 La cámara de las estatuas 10
 中村訳 '76. 6〇悪 p 129
 疲れた男のユートピア Utopía de un hombre que está cansado 48
 篠田訳 '80. 1〇す p 210
 // '80. 12〇砂 p 109
 月 La luna 30
 鼓訳 '75. 5〇創 p 146
 牛島訳 '75. 7〇m p 68
 爪 Las uñas 30
 鼓訳 '74. 7〇海 p 205
 // '75. 5〇創 p 28
 鄭夫人=女海賊
 La viuda Ching, pirata 10
 中村訳 '76. 6〇悪 p 47
 篠田訳 '78. 5〇世 p 272
 テキサス Texas 32
 鼓・木村訳 '77. 9〇ブ p 80
 デリア・エレーナ・サン・マルコ
 Delia Elena San Marco 30
 鼓訳 '75. 5〇創 p 46
 伝奇集 Ficciones 15
 篠田訳 '68. 6〇世 p 3
 // '75. 4〇伝 p 236 p
 // '78. 5〇世 p 5
 鼓訳 '78. 11〇キ p 151
 // 第一部プロローグ Prólogo
 篠田訳 '68. 6〇世 p 7
 // '75. 4〇伝 p 9
 // '78. 5〇世 p 9
 鼓訳 '78. 11〇キ p 152
 // 第二部プロローグ Prólogo
 篠田訳 '68. 6〇世 p 73
 // '75. 4〇伝 p 113
 // '78. 5〇世 p 77
 鼓訳 '78. 11〇キ p 206
 天恵の歌 Poema de los dones 30
 土岐訳 '70. 4〇ユ p 86
 鼓訳 '75. 5〇創 p 118
 牛島訳 '75. 7〇m p 67
 天国篇, 第三十一歌, 一〇八行
 Paradiso XXXI, 108 30
 鼓訳 '75. 5〇創 p 86

- ドイツ鎮魂曲 Deutsches Requiem
- 19
- 土岐訳 '68. 3◎不 p 123
- 〃 '80. 11◎不 p 117
- 篠田訳 '78. 5◎世 p 188
- 動機なしの殺人者 ビル・ハリガン
- El asesino desinteresado Bill Harrigan 10
- 篠田訳 '78. 5◎世 p 283
- 読者 Lectores 32
- 鼓・木村訳 '77. 9◎ブ p 74
- 鼓訳 '79. 5◎ボ p 254
- 「読者の迷妄に満ちた論理」
- La supersticiosa ética del lector
- 8
- 鼓・木村訳 '77. 9◎ブ p 161
- 扉のエレジー
- Elegía de los Portones 6
- 鼓・木村訳 '77. 9◎ブ p 45
- トム・カストロー詐欺師らしくない詐欺師 El impostor inverosímil Tom Castro 10
- 中村訳 '76. 6◎悪 p 33
- 土曜日 Sábados 1
- 牛島訳 '75. 7◎m p 62
- 捕えられた男 El cautivo 30
- 鼓訳 '75. 5◎創 p 38
- 囚われ人 El cautivo 30
- 牛島訳 '74. 11◎ボ p 110
- 〃 著者注釈
- 牛島訳 '74. 11◎ボ p 235
- トレン、ウクバル、オルビス・テルティウス Tlön, Uqbar, Orbis Tertius 15
- 篠田訳 '68. 6◎世 p 9
- 〃 '75. 4◎伝 p 11
- 〃 '78. 5◎世 p 11
- 鼓訳 '78. 11◎キ p 154
- トロフィー Trofeo 1
- 牛島訳 '75. 7◎m p 63
- 『ドン・キホーテ』の著者ピエール・メナール Pierre Menard, autor del Quijote 16
- 篠田訳 '68. 6◎世 p 29
- 〃 '75. 4◎伝 p 43
- 〃 '78. 5◎世 p 32
- 鼓訳 '78. 11◎キ p 171
- 『ドン・キホーテ』の部分的魔術
- Magias parciales del Quijote 22
- 土岐訳 '74. 7◎海 p 226
- 内緒の奇蹟 El milagro secreto 15
- 篠田訳 '78. 5◎世 p 108
- 中庭 Un patio 1
- 牛島訳 '75. 7◎m p 59
- 謎を映す鏡 El espejo de los enigmas 22
- 土岐訳 '74. 7◎ユ p 82
- 南部 El Sur 15
- 篠田訳 '68. 6◎世 p 118
- 〃 '75. 4◎伝 p 188
- 〃 '78. 5◎世 p 126
- 鼓訳 '78. 11◎キ p 245
- 南部 El Sur 1
- 牛島訳 '75. 7◎m p 59
- 二通の手紙 Dos cartas 25
- 岸本訳 '78. 11◎エ p 171
- 刃傷の痕 La forma de la espada 15
- 林一郎訳 '63. 2◎世 p 401
- バークリーの十字路
- The Crossroads of Berkeley
- 斎藤訳 '80. 4◎ソ p 8
- 馬車名鑑 Las inscripciones de los carros 25
- 岸本訳 '78. 11◎エ p 119
- 場末の詩 La Canción del Barrio 25
- 岸本訳 '78. 11◎エ p 75
- パスカル Pascal 22
- 土岐訳 '77. 7◎エ p 65
- パスカルの球体
- La esfera de Pascal 22
- 土岐訳 '75. 7◎m p 5
- 『バートルビー』序
- 土岐訳 '77. 4◎ユ p 107
- バーナード・ショーに関する(に向けての)ノート Nota sobre (hacia) Bernard Shaw 22
- 鼓・木村訳 '77. 9◎ブ p 211
- ハーバート・クエインの作品の検討

Examen de la obra de Herbert
Quain 15

篠田訳 '68. 6◎世 p 48

// '75. 4◎伝 p 74

// '78. 5◎世 p 52

鼓訳 '78.11◎キ p 187

バビロンのくじ

La lotería en Babilonia 15

篠田訳 '68. 6◎世 p 42

// '75. 4◎伝 p 65

// '78. 5◎世 p 46

鼓訳 '78.11◎キ p 182

バベルの図書館

La biblioteca de Babel 15

篠田訳 '68. 6◎世 p 53

// '75. 4◎伝 p 82

// '78. 5◎世 p 57

鼓訳 '78.11◎キ p 191

はみだした男 Les autres

一丸禎子訳 '79. 2◎地 p 41

バラ La rosa 1

牛島訳 '75. 7◎m p 60

バラ色の店のある街

Calle con almacén rosado 2

鼓・木村訳 '77. 9◎ブ p 26

バラ色の街角の男 Hombre de la es-

quina rosada 10 45

牛島訳 '74.11◎ボ p 27

篠田訳 '78. 5◎世 p 297

// 著者注釈

牛島訳 '74.11◎ボ p 215

バラとミルトン Una rosa y Milton

32

鼓・木村訳 '77. 9◎ブ p 72

バルタサル・グラシアン

Baltasar Gracián 32

鼓・木村訳 '77. 9◎ブ p 58

『ピアタナトス論』

El "Biathanatos" 22

大熊栄訳 '75. 7◎m p 81

一つの問題 Un problema 30

鼓訳 '75. 5◎創 p 62

ビル・ハリガン—動機なき殺人者 El

asesino desinteresado Bill Har-

rigan 10

中村訳 '76. 6◎悪 p 73

卑劣な男 El indigno 44

鼓訳 '74. 1◎ブ p 31

フアン・ムラーニャ Juan Muraña

44

鼓訳 '74. 1◎ブ p 81

フィルム Films 8

鼓訳 '78. 4◎エ p 154

『ブヴァールとペキュシェ』擁護

Vindicación de "Bouvard et

Pécuchet" 8

土岐訳 '68. 6◎フ p 412

フェニックス宗 La secta del Fénix

15

篠田訳 '68. 6◎世 p 115

// '75. 4◎伝 p 183

// '78. 5◎世 p 123

鼓訳 '78.11◎キ p 242

ブエノスアイレス Buenos Aires 43

鼓・木村訳 '77. 9◎ブ p 119

ブエノスアイレス建設の神話 Funda-

ción mítica de Buenos Aires 6

鼓・木村訳 '77. 9◎ブ p 42

ブエノスアイレスの熱狂 Fervor de

Buenos Aires 1

鼓・木村訳 '77. 9◎ブ p 9

ブエノスアイレスのパレルモ

Palermo de Buenos Aires 25

岸本訳 '78.11◎エ p 17

武勲詩『ベーオウルフ』に書き込まれ

た詩 Composición escrita en un

ejemplar de la Gesta de Beo-

wulf 32

鼓・木村訳 '77. 9◎ブ p 82

不作法な式部官 吉良上野介

El incivil Maestro de Ceremo-

nias Kotsuké no Suké 10

篠田訳 '78. 5◎世 p 287

不死の人 El inmortal 19

篠田訳 '54.12◎秩 p 71

// '59. 8◎邯 p 229

// '68. 6◎世 p 135

// '75. 4◎伝 p 199

// '78. 5〇世 p 135
 土岐訳 '68. 3〇不 p 9
 // '80. 11〇不 p 5
 // エピローグ Epílogo
 土岐訳 '68. 3〇不 p 253
 // '80. 11〇不 p 247
 篠田訳 '78. 5〇世 p 248
 不死の人びと Los inmortales 3345
 牛島訳 '74. 11〇ボ p 123
 斎藤訳 '77. 6〇ブ p 171
 // 著者注釈
 牛島訳 '74. 11〇ボ p 240
 プストス・ドメックのクロニクル
 Crónicas de Bustos Domecq 38
 斎藤訳 '77. 6〇ブ 217 p
 // 序 Prólogo
 斎藤訳 '77. 6〇ブ p 11
 不正調達者 モンク・イーストマン
 El proveedor de iniquidades
 Monk Eastman 10
 篠田訳 '78. 5〇世 p 277
 二人の王様と二つの迷宮 Los dos
 reyes y los dos laberintos 1942
 45
 牛島訳 '74. 11〇ボ p 69
 // 著者注釈
 牛島訳 '74. 11〇ボ p 225
 ふたりの王とふたつの迷宮 Los dos
 reyes y los dos laberintos
 土岐訳 '68. 3〇不 p 201
 // '80. 11〇不 p 195
 ふたりの王とふたつの迷宮の物語 Los
 dos reyes y los dos laberintos
 柳瀬訳 '76. 7〇ボ p 94
 船旅 Singladura 2
 鼓・木村訳 '77. 9〇ブ p 39
 フランシスコ・ボルヘス大佐 (1835—
 74) の死を偲んで Alusión a la
 muerte del coronel Francisco
 Borges (1835—74) 30
 鼓訳 '75. 5〇創 p 172
 フランシスコ・ロペス・メリーノに捧
 ぐ A Francisco López Merino
 6

牛島訳 '75. 7〇m p 65
 プロディエーの報告書 El informe de
 Brodie 44
 鼓訳 '74. 1〇ブ p 173
 // まえがき Prólogo
 鼓訳 '74. 1〇ブ p 9
 フローベールと彼の模範的運命
 Flaubert y su destino ejemplar
 8
 土岐訳 '79. 10〇力 p 120
 平安を誇る Jactancia de Quietud 2
 鼓・木村訳 '77. 9〇ブ p 35
 平明 Llaneza 1
 牛島訳 '75. 7〇m p 62
 別の争い El otro duelo 44
 鼓訳 '74. 1〇ブ p 125
 別の虎 El otro tigre 30
 鼓訳 '75. 5〇創 p 162
 ペドロ・サルバドール・レス
 Pedro Salvadores 4345
 牛島訳 '74. 11〇ボ p 137
 // 著者注釈
 牛島訳 '74. 11〇ボ p 245
 ペルー El Perú 50
 鼓訳 '78. 7〇力 p 227
 変化 Mutaciones 30
 鼓訳 '75. 5〇創 p 78
 ヘンギストは男たちを求めている (西
 暦紀元449年) Hengist quiere
 hombres (449 A.D.) 47
 鼓・木村訳 '77. 9〇ブ p 137
 《変身》序文 Préface a la Métamor-
 phose [Obligues, 3 掲載]
 柳瀬訳 '77. 2〇エ p 59
 歩哨 El centinela 47
 鼓・木村訳 '77. 9〇ブ p 128
 ホメーロスの翻訳
 Las versiones homéricas 8
 鼓・木村訳 '77. 9〇ブ p 177
 ボルジェス一族 Los Borges 30
 鼓訳 '75. 5〇創 p 182
 ボルヘス怪奇譚集 Cuentos breves y
 extraordinarios 3942
 柳瀬訳 '76. 7〇ボ 165 p

// 緒言
柳瀬訳 '76. 7○ボ p 15
ボルヘスとわたし Borges y yo [30][45]
鼓訳 '74. 7○海 p 216
// '75. 5○創 p 114
牛島訳 '74. 11○ボ p 112
// 著者注釈
牛島訳 '74. 11○ボ p 236
真とは思えぬ山師 トム・カストロ
El impostor inverosímil Tom
Castro [10]
篠田訳 '78. 5○世 p 266
待たされた魔術師
El brujo postergado [10]
中村訳 '76. 6○悪 p 137
街角の男 Hombre de la esquina
rosada [10]
中村訳 '76. 6○悪 p 105
町はずれの地平線をのぞんで
Al horizonte de un suburbio [2]
鼓・木村訳 '77. 9○ブ p 28
待つ La espera [19]
篠田訳 '78. 5○世 p 225
マホメットの代役
Un doble de Mahoma [10]
中村訳 '76. 6○悪 p 149
篠田訳 '78. 5○世 p 321
マヌエル・ムヒカ・ライネスに捧げる
A Manuel Mujica Lainez [50]
鼓訳 '78. 7○力 p 228
まねごと El simulacro [30]
鼓訳 '75. 5○創 p 42
マルコ福音書 El Evangelio según
Marcos [44]
鼓訳 '74. 1○ブ p 159
マルティン・フィエロ Martín Fierro
[30]
鼓訳 '75. 5○創 p 74
見知らぬ街 Calle desconocida [1]
鼓・木村訳 '77. 9○ブ p 10
民族学者 El etnógrafo [43]
鼓・木村訳 '77. 9○ブ p 112
無為なる機械 Los ociosos [38]
斎藤訳 '77. 6○ブ p 165

『紫の大地』について
Sobre "The Purple Land" [22]
鼓・木村訳 '77. 9○ブ p 210
迷宮 El laberinto [43]
鼓訳 '78. 7○力 p 222
迷路 El laberinto [43]
土岐訳 '70. 4○ユ p 87
恵みの夜 La noche de los dones [48]
篠田訳 '80. 1○す p 205
// '80. 12○砂 p 81
めぐり合い El encuentro [44][45]
鼓訳 '74. 1○ブ p 65
牛島訳 '74. 11○ボ p 129
// 著者注釈
牛島訳 '74. 11○ボ p 242
メルヴのハキム—仮面をかぶった染物
師 El tintorero enmascarado
Hákim de Merv [10]
中村訳 '76. 6○悪 p 93
もうひとつの死 La otra muerte [19]
[45]
土岐訳 '68. 3○不 p 109
// '80. 11○不 p 103
牛島訳 '74. 11○ボ p 78
篠田訳 '78. 5○世 p 181
// 著者注釈
牛島訳 '74. 11○ボ p 228
もうひとつの虎 El otro tigre [30]
土岐訳 '70. 4○ユ p 84
物語の技法と魔術 El arte narrativo
y la magia [8]
土岐訳 '74. 7○海 p 220
モンク・イーストマン—無法請負人
El proveedor de iniquidades
Monk Eastman [10]
中村訳 '76. 6○悪 p 59
約束 La promesa [47]
鼓・木村訳 '77. 9○ブ p 130
八岐の園 El jardín de senderos que
se bifurcan [15]
篠田訳 '68. 6○世 p 60
// '75. 4○伝 p 94
// '78. 5○世 p 64
鼓訳 '78. 11○キ p 197

ユダについての三つの解釈

- Tres versiones de Judas 15
 篠田訳 '68. 6〇世 p 107
 " '75. 4〇伝 p 170
 " '78. 5〇世 p 115
 鼓訳 '78. 11〇キ p 235
 夢 El sueño 49
 鼓訳 '78. 7〇力 p 226
 夢を見た二人の男 Historia de los dos que soñaron 10
 中村訳 '76. 6〇悪 p 133
 夢を見た二人の男の物語 Historia de los dos que soñaron 10
 篠田訳 '78. 5〇世 p 313
 夜明け Amanecer 1
 牛島訳 '75. 7〇m p 60
 ヨークミンスターの一振りの剣に捧げる A una espada en York Minster 32
 鼓・木村訳 '77. 9〇ブ p 89
 ヨハネ書 I 14 Juan, I, 14 32
 鼓・木村訳 '77. 9〇ブ p 76
 四行詩 Cuarteta 30
 鼓訳 '75. 5〇創 p 225
 ラグナレク Ragnarök 30
 鼓訳 '74. 7〇海 p 215
 " '75. 5〇創 p 104
 ラザレス・モレル—恐ろしい救世主 El atroz redentor Lazarus Morell 10
 中村訳 '76. 6〇悪 p 17
 羅針 Una brújula 32
 鼓・木村訳 '77. 9〇ブ p 52
 ラモン・ボナベーナとの一タ Una tarde con Ramón Bonavena 38
 斎藤訳 '77. 6〇ブ p 25
 ルイス・デ・カモンイスに捧げる A Luis de Camoens 30
 鼓訳 '75. 5〇創 p 184
 ルカス伝, 三十三章 Lucas, XXIII 30
 鼓訳 '75. 5〇創 p 210
 レオポルド・ルゴーネスに捧げる A Leopoldo Lugones 30
 鼓訳 '75. 5〇創 p 10

歴史を通じてこだまする名前

- Historia de los ecos de un nombre 22
 鼓・木村訳 '77. 9〇ブ p 223
 錬金術師 El alquimista 32
 鼓・木村訳 '77. 9〇ブ p 102
 老夫人 El señora mayor 44
 鼓訳 '74. 1〇ブ p 95
 ロサス Rosas 1
 鼓・木村訳 '77. 9〇ブ p 15
 ロセンド・スアレスの物語 Historia de Rosendo Juárez 44/45
 鼓訳 '74. 1〇ブ p 49
 ロセンド・フワレスの物語 Historia de Rosendo Juárez 44/45
 牛島訳 '74. 11〇ボ p 140
 " 著者注釈
 牛島訳 '74. 11〇ボ p 245
 ロームの様々な書目とその分析 Catálogo y análisis de los diversos libros de Loomis 38
 斎藤訳 '77. 6〇ブ p 57
 わがすべての生 Mi vida entera 2
 牛島訳 '75. 7〇m p 64
 別れ Una despedida 2
 鼓・木村訳 '77. 9〇ブ p 30
 わたしの書物 Mis libros 49
 鼓訳 '78. 7〇力 p 225
 わたしの読者に A quien está leyéndome 32
 鼓・木村訳 '77. 9〇ブ p 100
 われらが画工, タファス Un pincel nuestro: Tafas 38
 斎藤訳 '77. 6〇ブ p 133
 A・Rを悼みて In Memoriam A.R. 30
 鼓訳 '75. 5〇創 p 174
 Argumentum Ornithologicum—鳥類学的推論 30
 鼓訳 '75. 5〇創 p 36
 Blind Pew—盲のピュー 30
 鼓訳 '75. 5〇創 p 168
 Dreamtigers—夢の虎 30
 鼓訳 '74. 7〇海 p 204

// '75. 5◎創 p 22
Everything and nothing—全と無 80
鼓記 '74. 7◎海 p 213
// '75. 5◎創 p 96
His end and his beginning 43
鼓・木村訳 '77. 9◎ブ p 124
J・F・Kを悼みて In Memoriam J.

F. K. 80
鼓記 '75. 5◎創 p 230
Le regret d'Heraclite—ヘーラクレイ
トスの後悔
鼓記 '75. 5◎創 p 230
無題〔エピグラフ〕
野村英夫訳 '69. 4◎言 p 1

E 参考文献目録

* 執筆者名を見出しとして五十音順に排列。日本人のあとに外国人。同一人名のなかは発表年月順。

* 記述は、執筆者名 題名（外国人の場合は翻訳者名） 発表年月○誌名の頭字一字 掲載の始めのページ。図書収録の場合は、発表年月◎書名の頭字一字 収録の始めのページ。転載は→で示した。

天澤退二郎

「ボルヘス」の消散

'75. 7◎m p 104
→'81. 6◎幻 p 169

明晰なユーモア…ボルヘス&ビオイ
ニカサーレス '78. 3◎海 p 203

→'81. 6◎幻 p 157

図書館幻想—ルゴネスとダルケ

'78. 11◎力 p 80
→'81. 6◎幻 p 175

荒俣 宏

ボルヘス、ホルヘ・ルイス

'79. 9◎世 p 51

伊藤 洋

ボルヘス '78. 7◎国 p 538

入沢康夫

バベルの図書館は一枚の垂直面なの
だろうか '79. 2◎現 p 24

バベルの図書館の大きさ

'79. 4◎現 p 24

作品は作者を作るのだろうか(1—3)

'79. 6, 8, 10◎現 p 26, 28, 24

「当り」「外れ」の問題

'79. 12◎現 p 28

岩成達也

ボルヘスの私的な目次

'78. 11◎力 p 155

牛島信明

あとがき '74. 11◎ボ p 247

もうひとりのボルヘス—もしくはフ
ワン・ダールマン

'75. 7◎m p 108

→'80. 4◎ボ p 86

ボルヘスにおける没個性—スペイン
文学との比較において

'78. 11◎力 p 160

内田美恵

アレフの午睡 '80. 2◎遊 p 72

注：ボルヘスへのインタビュー

海野 弘

街角のフォルクローレ

'78. 11◎力 p 95

大沢正信

円卓を囲むホメーロスたち—『ユリ
シーズ』と「不死の人」

'79. 7◎ユ p 185

金石 稔

カフカの末裔 '75. 7◎m p 118

→'80. 4◎ボ p 44

狩々博士=斎藤博士

カバラの巨匠ボルヘスを語る

'74. 1◎幻 p 158

ボルヘスの顔 '75. 7◎創, 月 p 10

ボルヘス通を求めて

'75. 12◎本 p 72

川又千秋

運命—ホルヘ・ルイス・ボルヘス

'75. 1◎S p 106

- '81. 8〇夢 p 194
- 川村二郎
 〈シナの迷宮〉解説
 '63. 2〇文 p 105
 ボルヘスと数 '78. 11〇力 p 77
- 神吉敬三
 ボルヘスの歩みとサンチェス・フェ
 ルロシオの世界 '68. 6〇世, 月
 p 1 「ティミド」な作家のための
 作家 '80. 3〇朝 p 89
- 岸本静江
 ボルヘスとブエノスアイレスあるい
 は都市のイマージュ
 '78. 11〇エ p 179
- 紀田順一郎
 悪名高い七人のアンチ・ヒーロー伝
 J.L. ボルヘス著 篠田一士訳『汚
 辱の世界史』 '78. 8〇50 p 46
 →'79. 11〇読 p 226
- 木村栄一
 ふたりのダイダロスーボルヘスとコ
 ルタサル '75. 7〇m p 130
 ボルヘスと〈聖〉なる空間
 '78. 11〇力 p 226
 イスパノアメリカの現代文学と神話
 的世界 '79. 10〇力 p 76
 七〇年代のイスパノアメリカ文学
 注:「ブローディーの報告書」に言及
 '81. 10〇ユ p 71
- 桑原喜一
 余分な夢 '75. 7〇m p 122
- 小島信夫
 篠田氏とボルヘスのこと
 '78. 5〇世, 月 2p
 ファイサイネス島の結婚式
 注: M. フーコーの『言葉と物』の序にある
 ボルヘスに言及
 '78. 6〇潮 p 334
 →'81. 1〇奴 p 80
 自分はどこにいるか
 注: 幻獣辞典について
 '79. 3〇潮 p 306
 →'81. 1〇奴 p 303
- 斎藤博士=狩々博士
 H・ブストロス・ド・メックを讃えて
 '77. 6〇ブ p 181
- 篠田一士
 邯鄲にて '54. 12〇秩 p 115
 変身 '56. 4〇秩
 →'59. 8〇邯 p 25
 →'80. 4〇ボ p 9
 三つの小説〔伝奇集, 不死の人〕
 〔解説〕 '68. 6〇世 p 339
 ホルヘ・ルイス・ボルヘス
 '69. 12〇都 p 242
 解説 '75. 4〇伝 p 229
 解説 '78. 5〇世 p 325
 討議・ボルヘスとラテンアメリカ文
 学の現在 '78. 11〇力 p 118
 ボルヘス論のための栞
 '78. 11〇力 p 106
 世界文学への道 '78. 12〇世 p 68
 ボルヘス氏に聞く
 '80. 1〇す p 216
 於: 1979年11月銀座レンガ屋
 訳者あとがき '80. 12〇砂 p 167
 共同討議・海外文学に何が起ってい
 るか '81. 10〇文 p 122
- 淡沢龍彦
 幻想動物学 '69. 12〇ユ p 18
 エレアのゼノソ—あるいはボルヘス
 の原理 '78. 11〇力 p 72
 →'80. 4〇ボ p 30
 →'80. 6〇城 p 121
- 清水 徹
 読書のユートピア—あるいは読書の
 悪徳について
 注: 「ドン・キホーテの著者ビエール・メナ
 ール」に言及
 '76. 9〇中 p 252
 →'77. 6〇読 p 7
 討議・ボルヘスとラテンアメリカ文
 学の現在 '78. 11〇力 p 118
 ボルヘスは語る〔パネル・ディスカ
 ッション〕 '80. 3〇朝 p 84
- 杉山 晃
 ボルヘス氏に聞く
 '80. 1〇ラ p 3
 迷宮の森をさまよって
 '80. 2〇海 p 258

於：1979年11月ホテル・オークラ

鈴木 宏

ボルヘスときみ '79. 2〇地 p 64

ボルヘス邦語書誌抄

'80. 4〇ボ p 165

高橋睦郎

不死の人…トレーン, ウクバル,

オルビス・テルティウス

'79. 9〇言 p 394

ボルヘスの詩と真実—ボルヘス『砂

の本』を読む '80. 12〇青 p 36

多田智満子

鏡の迷宮 '77. 2〇鏡 p 58

田中小実昌

ウソッパチのおしゃべり

'78. 11〇キ p 139

→'80. 4〇ボ p 53

辻 邦生

幻想の鏡, 現実の鏡

'80. 4〇ボ p 153

鼓 直

ボルヘス '73. 8〇万 p 599

解説 '74. 1〇ブ p 191

『創造者』についての解説

'74. 7〇海 p 218

ボルヘス '74. 11〇ブ p 88

「創造者」について

'75. 5〇創 p 238

解説 '77. 9〇ブ p 245

ラ・プラタとカリブの幻想

'78. 5〇現 p 57

評伝ホルヘ・ルイス・ボルヘス

'78. 11〇力 p 110

→'80. 4〇ボ p 101

ボルヘス人と作品

'78. 11〇キ p 225

訳者あとがき '78. 11〇ボ p 149

討議・ボルヘスとラテンアメリカ文

学の現在 '78. 11〇力 p 118

ボルヘスと映画 '79. 9〇力 p 8

ボルヘスにおける日本

'80. 9〇す p 220

共同討議・海外文学に何が起ってい

るか '81. 10〇文 p 122

寺山修司

消えた書物—ボルヘスの映画「Les autres」に於ける父親の解体

'78. 11〇力 p 102

→改題：書物の映画 ボルヘス

→'81. 10〇月 p 43

ボルヘスは語る「パネル・ディスカッション」 '80. 3〇朝 p 84

二十世紀のオイディプス

'80. 4〇ボ p 49

→改題：ボルヘス 父親の不在

→'81. 10〇月 p 77

書物になった男—忘却か, 解説か

'81. 9〇叢 p 259

図書館の宇宙誌—書物の引力につい

て '81. 10〇現 p 54

土岐恒二

解説 '68. 3〇不 p 257

解題「ボルヘス紹介」

'68. 6〇フ p 416

ホルヘ・ルイス・ボルヘス

'69. 12〇都 p 242

「神の書跡」をめぐる夢想—ボルヘス小論

'70. 6〇ユ p 27

明晰な錯綜—ボルヘスの虚構の構造

'70. 7〇海 p 207

Palimpsesto としての文学—ボルヘスの Obras Completas について

'70. 8〇ユ p 106

ボルヘスにおける言語とフィクション

'72. 6〇国 p 156

→'80. 4〇ボ p 37

想像の図書館から

'74. 7〇海 p 237

ボルヘス '75. 5〇ブ p 586

ボルヘスの文学—ひとつの素描

'79. 8〇暗 [p 22]

解説 '80. 11〇不 p 251

中井英夫

地下鉄の与太者 '80. 4〇ボ p 113

中川 敏(編訳)

ボルヘスの倦怠あるいは転位について

注：ボルヘスとフェルナンデスモレノとの対談

'70. 8〇ユ p 84
 中村健二
 訳者あとがき '76. 6〇悪 p 157
 対談・旅人への贈り物(土谷尚子訳)
 '80. 4〇国 p 2
 ホルヘ・ルイス・ボルヘス氏について
 '80. 4〇国 p 3
 西川正身
 ビアスとボルヘス
 '74.10〇波 p 19
 野谷文昭
 ラテンアメリカ1920年代作家の群
 像(1—2) '81. 4〇イ p 16
 乗越和義
 伝奇集—それ自身の内に一つの宇宙
 を内包している傑作短編集
 '78.11〇世 p 96
 日野啓三
 非土着的作家の血と土地の問題 ボ
 ルヘス著『ボルヘスとわたし』〔書
 評〕 '74.11〇波 p 26
 開かれた小宇宙 '78.11〇力 p 148
 →改題：短かさの中の豊かさ
 →'81.12〇聖 p 157
 「ウルリーク」は三度読み直し給え
 '81.12〇聖 p 163
 富士川義之
 解説 '70. 6〇セ p 306
 二人の魔術師—ナボコフとボルヘス
 '78.11〇力 p 84
 丸谷オ一
 人生の一片 ホルヘ・L・ボルヘス
 鼓直訳『プロディーの報告書』
 '74. 2〇週
 →'81.10〇遊 p 169
 ボルヘスと国民文学
 '75.10〇文 p 57
 →'80. 2〇遊 p 254
 村井文夫
 不死の人〔紹介〕
 '81. 7〇世 p 225
 森本哲郎
 哲学とは人間の本質的な当惑の体系
 である ホルヘ・ルイス・ボルヘ

ス '80. 6〇そ p 17
 「迷宮の住人」と呼ばれる男 ホル
 ヘ・ルイス・ボルヘス
 '80. 7〇諸 p 117
 柳瀬尚紀
 乱丁のボルヘッセイ
 '74. 3〇早 p 101
 →'78.10〇ノ p 33
 →'80. 4〇ボ p 63
 解説〈ホルヘ・ルイス・ボルヘス—
 からくりの論理〉
 '73. 5〇ボ p 219
 解説 ホルヘ・ルイス・ボルヘス、
 あるいはアダムの肋骨とゴグと主
 キリスト学識 '74.12〇幻 p 223
 訳者あとがき '76. 7〇ボ p 163
 ボルヘスとわたしを読むわたし
 '78. 2〇現 p 70
 →'78.10〇ノ p 69
 アップダイク (John Updike)
 ボルヘス—図書館員としての作者—
 『別々の審問, 1937—1952』(1964
 年), 『夢の虎』(1964年), 『ボル
 ヘス—迷宮の創造者』(1965年)
 千石英世訳 '78.11〇力 p 188
 ヴァックス (Louis Vax)
 第三章 幻想文学 四 他国々の
 文学 窪田般彌訳
 注:『トレン, ウクパール, オルビス・テル
 ティウス』に言及
 '61.10〇幻 p 120
 ウィーロック (Carter Wheelock)
 神話作家—ボルヘス・サンボリスム
 ・美的現象 大熊栄訳
 '75. 7〇m p 91
 オリエ (Claude Ollier)
 テクストと陰謀のテーマ 工藤庸子
 訳 '78.11〇力 p 205
 カイヨワ (Roger Caillois)
 ボルヘスの基本的主題 松崎芳隆訳
 '70. 8〇ユ p 90
 ゴンサーレス
 ボルヘスからコルタサルへ 木村栄
 一訳 '75. 7〇m p 138

- サバート (Ernest Sabato)
二人のボルヘス 有田忠郎訳
'78.11○カ p 174
- シャプサル (Madeleine Chapsal)
ホルヘ・ルイス・ボルヘス 朝比奈
誼訳 (注) 1963年パリでの対談
'73. 8○作 p 135
- シャルボニエ (Georges Charbonnier)
ボルヘスとの対話 鼓直・野谷文昭
訳 '75. 7○m p 157
→ '78.11○ボ 155 p
- ジュネット (Gérard Genette)
ボルヘスの批評 倉沢充夫訳
'75. 7○m p 30
- スタイナー (George Steiner)
鏡のなかの虎—ホルヘ・ルイス・ボ
ルヘス 由良君美訳
'71.11○文 p 252
→ '81. 1○脱 p 45
- タナー (Tony Tanner)
言葉の遊戯場にて (ウラジミール・
ナボコフ／ホルヘ・ルイス・ボル
ヘス) '80. 6○言 p 33
- デンプォウ (R. S. Dembo)
迷路のイメージ—ボルヘスとの対話
山形和美訳 '77. 5○世 p 253
- ハイメ (Fernandez Jaime)
ボルヘスは語る [パネル・ディスカ
ッション] '80. 3○朝 p 84
- バーギン (Richard Burgin)
ボルヘスとの対話 柳瀬尚紀訳
'73. 5○ボ 231 p
- バース (John Barth)
枯渇の文学 小林史子訳
'75. 7○m p 45
- バルガス＝ジョサ (Mario Vargas-
Llosa)
現実に背くもう一つの現実 大熊栄
訳 '78.11○カ p 168
ボルヘスを尋ねて 鼓訳
'81.12○す p 192
- フェルナンデス モレノ (César Fer-
nández Moreno)
ボルヘスの倦怠あるいは転位につい
て 中川敏訳 (注) ボルヘスとの対談
'70. 8○ユ p 84
- フーコー (Michel Foucault)
序 渡辺一民訳 '74. 6○言 p 13
- フランコ (Jean Franco)
第3章 根源への復帰, 第6章 世
界主義または普遍主義, 第8章
作家と国情の一部に 吉田秀太郎
訳 '74. 3○ラ p 110, 216, 316
- ブランショ (Maurice Blanchot)
文学的無限, アレフ 粟津則雄訳
'68. 9○来 p 145
- ブリヨン (Marcel Brion)
仮面・鏡・虚言・迷宮 阿久津英和
訳 '75. 7○m p 16
- ユルキエビッチ (Saúl Yurkievich)
ボルヘス 円環の詩人 野谷文昭訳
'78.11○カ p 212
- リカルドゥー (Jean Ricardou)
可変的な現実, 現実の可変相 野村
英夫訳 (注) 「棚上げされた魔法使」El
brujo postergado について。他に各所で
ボルヘスに言及。
'69. 4○言 p 29
- ルフェーヴ (Maurice-Jean Lefebvre)
誰がボルヘスを書いたか? 天沢衆
子訳 '75. 7○m p 85
- レム (Stanislaw Lem)
対立するものの統一—ボルヘスの散
文作品 谷本慎介訳
'80. 2○海 p 270
- ロドリゲス・モネガル
(Emir Rodríguez Monegal)
ボルヘスとパス—批評文による対話
に向かって 三沢多恵子訳
'75. 7○m p 36
- ボルヘスとパス—批評的テキストの
対話に向けて 木村栄一訳
'78. 3○海 p 318
(注) 同じ原典からの翻訳。

F ボルヘスの著作から

* ボルヘスの諸作品のなかから、彼の思想が比較的表出されていると思われる箇所を摘記した。これからボルヘスを読む人への参考となれば幸いである。

人類は一唯一無二の人類は一絶滅への途上にあり、他方図書館は永遠につづくだろうと思われる。輝き、孤独で、無限に、完全に不動で、貴重な書物にみち、無用で、無窮に、ひそやかに。(パベルの図書館 篠田訳)

彼らにとって世界とは宇宙における物質の集合体ではない。それは個々の行為の異質の連鎖である。それは連続的で時間的であり、空間的ではない。(トレーン、ウクパール、オルビス・テルティウス 篠田訳)

夢をよそおう夜と さまざまな形の鏡を 神がお造りになったその目的は 影のような虚しい存在だということを 人間に悟らせるためだった それ故わたしたちは怯えるのだ(鏡 鼓訳)

一人の人間が世界を描くという仕事をもくろむ。長い歳月をかけて、地方、王国、山岳、内海、船、島、魚、部屋、器具、星、馬、人などのイメージで空間を埋める。しかし、死の直前に気付く、その忍耐づよい線の迷路は、彼自身の顔をなぞっているのだと。(創造者エピローグ 鼓訳)

およそ人生は、それがいかに長くまたいかに複雑であろうとも、本質的には「ほんの一瞬間」一人が決定的に自分の正体を見抜いてしまう瞬間—に凝縮されている。(タデオ・イシドロ・クルスの生涯 牛島訳)

安らぎと屈辱と戦慄のなかで、彼は自分もまた、誰か他者が夢見ている幻にすぎないことを理解した。(円環の廃墟 牛島訳)

人体の五感外界の受容を妨げ、現実を歪めてしまう、そしてわれわれが五感から解放されれば、あるがままの世界を、無限の世界を見ることができるよう…事物の真の、永遠のモデルは魂の奥底にあるのであり、神がわれわれに与え給うた感覚器官は、全体として障害になっている…(不死の人びと 牛島訳)

「汝は目ざめへと目ざめたのではなく、前の夢へと目ざめたのだ。その夢はまたもうひとつの夢のなかにある、というようにして無限につづく。無限とはすなわち砂の数である。汝が引き返さねばならないであろう道は果てしなく、汝はほんとうに目ざめる前に死ぬであろう。」(神の書跡 土岐訳)

無限の時間のうちには、すべての物はすべての人に到るということを彼らは知っていた。過去もしくは未来の美德のために、すべての人間はありとあらゆる善行を行なう資格がある、と同時に、また過去もしくは未来の不徳のために、ありとあらゆる裏切り行為をする資格もあるのだ。こうして、偶然の戯れのうちに、偶数と奇数は均衡を保ってくるし、奸策と愚行は相殺するようになる。(不死の人 篠田訳)

単純な書物とか単純な言葉とかいったものは、この地上には一つとして存在しないのだ。いっさいのものが、複雑さをそのもっとも顕著な特質とする宇宙を志向しているからである。(プロディーの報告書 まえがき 鼓訳)

時間、すなわち昨日・今日・未来、あるいは恒常と非存とを綴るこの無限のたて糸こそ、唯一の謎であって、他はとるにたらぬ…(人智の思い及ばぬこと 篠田訳)

G 原著作名・邦訳著作名対照表

* 原著作名をA B C順に排列し、それぞれに邦訳著作名を付した。(別訳も列挙) 原著作名から邦訳著作名を知り、D 著作目録への索引とした。

[A] A Francisco López Merino フランシスコ・ロペス・メリーノに捧ぐ/A la efígie de un capitán de los ejércitos de Cromwell クロムウェル將軍麾下の一大尉の肖像に/A Leopoldo Lugones レオポルド・ルゴネスに捧げる/A Luis de Camoens ルイス・デ・カモンイスに捧げる/A Manuel Mujica Lainez マヌエル・ムヒカ・ライネスに捧げる/A quien está leyéndome わたしの読者に/A quien ya no es joven すでに若からざる人に/A un poeta menor de la Antología 詞華集に採られている小詩人に/A un poeta sajón あるサクソン人の詩人に/A un viejo poeta ある老詩人に捧げる/A una espada en York Minster ヨークミンスターの一振りの剣に捧げる/A una moneda 一枚の貨幣に捧げる/Abenjacán el Bojarí, muerto en su laberinto アベンハカーン・エル・ボハリー、おのれの迷宮に死す アベンハカーン・エル・ボハリー、おのれの迷宮にて死す 自分の迷宮で死んだアベンハカーン・エル・ボハリー/Adrogué アドロゲ/Ajedrez 象棋/Al coyote コヨーテに捧げる/Al general Quiroga va en coche al muerte キローガ將軍 馬車で死に向う/Al horizonte de un suburbio 町はずれの地平線をのぞんで/Al iniciar el estudio de la gramática anglosajona アングロ・サクソン語の文法研究を始めるに際して/Alusión a la muerte del coronel Francisco Borges (1835-74) フランシスコ・ボルヘス大佐 (1835—74) の死を偲んで/Alusión a una sombra de mil ochocientos noventa y tantos 一八九〇年代のある亡霊について/Amanecer 夜明け/Amorosa an-

ticipación 愛の先駆け／Anotación al 23 de agosto de 1944 一九四四年八月二三日の覚書き／Ariosto y los árabes アリオストとアラビア人たち／Arte poética 詩法／Avelino Arredondo アベリーノ・アレドンド

㉔ Bartasar Gracián バルタサル・グラシアン／Biografía de Tadeo Isidoro Cruz (1829-1874) タデオ・インドロ・クルスの生涯 (1829-1874)／Borges y yo ボルヘスとわたし／Buenos Aires ブエノスアイレス

㉕ Calle con almacén rosado バラ色の店のある街／Calle desconocida 見知らぬ街／Caminata 散策／Catálogo y análisis de los diversos libros de Loomis ローミスの様々な書目とその分析／Citizen Kane 市民ケー／Composición escrita en un ejemplar de la Gesta de Beowulf 武勲詩『ベオオウルフ』に書き込まれた詩／Crónicas de Bustos Domecq ブストス・ドメックのクロニクル／Cuarteta 四行詩／Cuentos breves y extraordinarios ボルヘス怪奇譚集

㉖ De las alegorías a las novelas 寓意から小説へ／Declaración 言明／Del culto de los libros 書物崇拜について／Del rigor en la ciencia 学問の厳密さ 学問の厳密さについて／Delia Elena San Marco デリア・エレナ・サン・マルコ／Deutsches Requiem ドイツ鎮魂曲／Diálogo de muertos 死者たちの会話／Diálogo sobre un diálogo ある会話についての会話／Dos cartas 二通の手紙／Dreamtigers 一夢の虎

㉗ Eclósiona un arte 芸術の開花／Edgar Allan Poe エドガー・アラン・ポー／El acercamiento a Almotásim アル・ムターシムを求めて／El Aleph アレフ エル・アレフ／El alquimista 錬金術師／El arte narrativo y la magia 物語の技法と魔術／El asesino desinteresado Bill Harrigan 動機なしの殺人者 ビル・ハリガン ビル・ハリガン—動機なき殺人者／El atroz redentor Lazarus Morell 恐怖の救済者ラザレス・モレル ラザレス・モレル—恐ろしい殺世主／El “Biathanatos” 『ビアタナトス論』／El brujo postergado お預けをくった魔術師 棚上げにされた魔法使 待たされた魔術師／El cautivo 捕えられた男 囚われ人／El centinela 歩哨／El Congreso 会議／El cuento policial 推理小説／El culto del coraje 肝魂信仰 決闘／El disco 円盤／El doctor Jekyll y Edward Hyde ジーキル博士とエドワード・ハイド氏／El duelo 争い／El encuentro めぐり合い／El enemigo generoso 寛大な敵 寛大なる敵／El enigma de Edward Fitzgerald エドワード・フィッツジェラルドの謎／El escritor argentino y la tradición アルゼンチン作家と伝統／El espejo de los enigmas 謎を映す鏡／El espejo de tinta インクの鏡／El espejo y la máscara 鏡と仮面／El estupor 狂態／El etnógrafo 民族学者／El Evangelio según Marcos マルコ福音書／El fin 結末／El golem ゴレム／El gremialista 結社の原理／El hacedor 創造者／El hombre en el umbral 入口の男 敷居の上の男／El im-

postor inverosímil Tom Castro トム・カストロー 詐欺師らしくない詐欺師 真
 とは思えぬ山師 トム・カストロー / El incivil Maestro de Ceremonias Kotsuké no
 Suké 吉良上野介—傲慢な式部官長 不法な式部官 吉良上野介 / El indigno
 卑劣な男 / El instante 瞬間 / El informe de Brodie ブロディーの報告書 / El
 inmortal 不死の人 / El jardín de senderos que se bijurcan シナの迷宮 八岐
 の園 / El laberinto 迷宮 迷路 / El libro 書物 / El libro de arena 砂の本 /
 El libro de los seres imaginarios 幻獣辞典 / El milagro secreto かくれた奇
 蹟 内緒の奇蹟 / El muerto 死人 死んだ男 / El ojo selectivo 選択する眼 /
 El oro de los tigres 群虎黄金 / El otro 他者 / El otro duelo 別の争い / El
 otro tigre 別の虎 もうひとつの虎 / El Perú ペルー / El poeta declara su
 nombradía 詩人その名声を告白する / El primer Wells 初期のウェルス / El
 proveedor de iniquidades Monk Eastman 不正調達者—モンク・イーストマン
 モンク・イーストマン—無法請負人 / El puñal 短刀 / El reloj de arena 砂時計
 / El ruseñor de Keats キーツの小夜啼き鳥 / El señora mayor 老夫人 / El
 simulacro まねごと / El soborno 贈賄 / El sueño 夢 / El sueño de Coleridge
 コールリッジの夢 / El Sur 南部 / El tango タンゴ / El teatro universal 世界
 劇場 / El testigo 証人 / El tiempo circular 円環的時間 / El tintorero enmas-
 carado Hákim de Merv 仮面の染物師メルヴのハキム メルヴのハキム—仮面を
 かぶった染物師 / El Zahir ザーヒル / Elegía エレジー / Elegía de los Por-
 tones 扉のエレジー / Elvira de Alvear エルビラ・デ・アルベアル / Emanuel
 Swedenborg エマヌエル・スウェデンボルグ / Emma Zunz エンマ・ツンツ /
 En búsqueda del Absoluto 絶対の探求 / Ese polifacético: Vilaseco かくも多
 様なピラセコ / España スペイン / Esse est percipi 存在は知覚 / Evaristo
 Carriego エバリスト・カリエゴ / Everything and nothing 全と無
 / Examen de la obra de Herbert Quain ハーバート・クエインの作品の検討
 ㊦ Fervor de Buenos Aires ブエノスアイレスの熱狂 / Ficciones 伝奇集 /
 Films フィルム / Flaubert y su destino ejemplar フローベールと彼の模範的
 運命 / Forjadura 鍛造 / Fragmento 断章 / Fundación mítica de Buenos Aires
 ブエノスアイレス建設の神話 / Funes el memorioso 記憶の人・フネス
 ㊧ Gradus ad parnasum 詩学階梯 / Guayaquil グアヤキル
 ㊨ Hengist cyning 王ヘンギスト / Hengist quiere hombres (449 A. D.) ヘン
 ギストは男たちを求めている (西暦紀元449年) / Historia de jinetes 騎馬民族考
 / Historia de los dos que soñaron 夢を見た二人の男 夢を見た二人の男の物
 語 / Historia de los ecos de un nombre 歴史を通じてこだまする名前 / Historia
 de Rosendo Juárez ロセンド・スワレスの物語 / Historia de tango タンゴの歴
 史 / Historia del guerrero y de la cautiva 戦士と囚われの女の物語 / Historia

universal de la infamia 悪党列伝 汚辱の世界史/Hombre de la esquina rosada ^{バラ}色の街角の男 街角の男/Homenaje a César Paradión セサル・パラディオへのオマージュ

① In Memoriam A. R. A・Rを悼みて/In Memoriam J. F. K J・F・Kを悼みて/Inferno, I, 32 地獄篇, 第一歌 三二行

② Jactancia de Quietud 平安を誇る/Juan, I, 14 ヨハネ書 I 14/Juan Muraña フアン・ムラーニャ

③ Kafka y sus precursores カフカとその先駆者たち

④ La biblioteca de Babel バベルの図書館/La biblioteca total 完全な図書館/La busca de Averroes アヴェロエスの探求/La cámara de las estatuas 彫像の部屋 彫像の間/La Canción del Barrio 場末の詩/La casa de Asterión アステリオンの家/La escritura del Dios 神の書跡/La esfera de Pascal パスカルの球体/La espera 期待 待つ/La flor de Coleridge コールリッジの花/La forma de la espada 刀の形 刃像の痕/La intrusa じゃま者/La lotería en Babilonia バビロンのくじ/La luna 月/La lluvia 雨/La metáfora 隠喩/La muerte y la brújula 死とコンパス/La muralla y los libros 城壁と書物/La noche ciclica 円環的夜/La noche de los dones 恵みの夜/La noche de San Juan サンファン之夜/La otra muerte もうひとつの死/La Plaza San Martín サン・マルティン広場/La postulación de la realidad 現実の措定/La promesa 約束/La rosa バラ/La Secta de los Treinta 三十派/La secta del Fénix フェニックス宗/La supersticiosa ética del lector 「読者の迷妄に満ちた論理」/La trama 陰謀/La viuda Ching, pirata 鄭夫人=女海賊/Las calles 街路/Las inscripciones de los carros 馬車名鑑/Las Misas Herejes 異端のミサ/Las ruinas circulares 円環の廃墟/Las traductores de las 1001 Noches 『千夜一夜』の翻訳者たち/Las uñas 爪/Las versiones homéricas ホメーロスの翻訳/Lectores 読者/Les autres はみだした男/Límites 限界/Lo que falto no daña 失われしを嘆く勿れ/Los Borges ボルジェス一族/Los cuatro ciclos 四循環/Los dos reyes y los dos laberintos 二人の王様と二つの迷宮, ふたりの王とふたつの迷宮, ふたりの王とふたつの迷宮の物語/Los espejos 鏡/Los espejos velados 覆われた鏡/Los gauchos ガウチョ/Los inmortales 不死のびと/Los ociosos 無為なる機械/Los teólogos 神学者たち/Lucas, XXIII ルカス伝, 三十三章/Llaneza 平明

⑤ Magias parciales del Quijote 『ドン・キホーテ』の部分的魔術/Manuscrito hallado en un libro de Joseph Conrad ジョセフ・コンラッドの一冊の本のなかで発見された手稿/Martin Fierro マルティン・フィエロ/Mayo 20, 1928 一九二八年五月二十日/Mi vida entera わがすべての生/Mil novecientos veinti-

tantos 一九二〇年代/Mis libros わたしの書物/Mutaciones 変化

Ⓐ Naturalismo al día 新自然主義/Nota sobre (hacia) Bernard Shaw バーナード・ショーに関する(に向けての)ノート/Nota sobre Walt Whitman ウォルト・ホイットマン小論/Nuestro pobre individualismo 「アルゼンチン人の不運な個人主義」

ⓐ Oda compuesta en 1960 一九六〇年代の頌歌

ⓑ Páginas complementarias 拾遺稿/Palermo de Buenos Aires ブエノスアイレスのパレルモ/Parábola de Cervantes y de Quijote セルバンテスとドン・キホーテの寓話/Parábola del palacio 王宮の寓話/Paradiso, XXXI, 108 天国篇, 第三十一歌, 一〇八行/Pascal パスカール/Pedro Salvadores ペドロ・サルバドール/Pierre Menard, autor del Quijote 『ドン・キホーテ』の著者ピエール・メナール/Poema conjetural 推測の詩/Poema de los dones 天恵の歌/Poema del cuarto elemento 第四元素の歌/Préface a la Metamorphose 《変身》序文/Profiles: Autobiographical notes 自伝風エッセー/Prólogo a una edición de las poesías completas de Evaristo Carriego 『エバリスト・カリエゴ全詩集』出版にあたっての序文

Ⓒ Ragnarök ラグナレク/Rosas ロサス

Ⓓ Sábados 土曜日/Shinto 神道/Singladura 船旅/Snorri Sturluson(1179-1241) スノリ・ストルルソン/Sobre el “Vathek” de William Beckford ウィリアム・ベックフォードの『ヴァテック』について/Sobre los clásicos 古典について/Sobre Oscar Wilde オスカー・ワイルド論/Sobre “The Purple Land” 『紫の大地』について/Susana Soca スサナ・ソーカ

Ⓙ Tema del traidor y del héroe 裏切り者と英雄のテーマ/Texas テキサス/The Crossroads of Berkeley パークリーの十字路/There are more things 人智の思い及ばぬこと/Tlön, Uqbar, Orbis Tertius トレーン, ウクバル, オルビス・テルティウス/Tres versiones de Judas ユダについての三つの解釈/Trofeo トロフィー

Ⓚ Ulrica ウルリーケ/Un arte abstracto 抽象芸術/Un doble de Mahoma マホメットの代役/Un enfoque flamante 斬新なる観点/Un patio 中庭/Un pincel nuestro: Tafas われらが画工, タファス/Un poeta del siglo XIII 十三世紀のある詩人/Un posible resumen こんな梗概も/Un problema 一つの問題/Un sajón (449 A. D.) あるサクソン人(西暦紀元449年)/Un soldado de Urbina ウルビーナの兵士/Un teólogo en la muerte 死後の神学者/Una brújula 羅針/Una despedida 別れ/Una llave en Salónica サロニカの鍵/Una oración 祈り/Una rosa amarilla 黄色い薔薇/Una rosa y Milton バラとミルトン/Una tarde con Ramón Bonavena ラモン・ボナベーナとの一タ

／Una vida de Evaristo Carriego エバリスト・カリエゴの生涯／Una vindicación de la Cábala カバラ擁護論／Una vindicación del falso Basíledes 邪教徒バシレイデス擁護論／Undr ウンドル／Utopía de un hombre que está cansado 疲れた男のユートピア

Ⅴ Valéry como símbolo 象徴としてのヴァレリー／Vestuario I-II 衣裳革命 I-II／Vindicación de “Bouvard et Pécuchet” 『ブヴァールとペキュシェ』擁護

付載 文献年表補遺

* 本書誌は1981年末までの文献を対象に編成を終っているが、本誌での発表が1983年中となったので、1982年分をここに取敢えず補遺として付載させていただくことにした。時間的余裕がなく、これらの文献を作品名や執筆者名の各項へ分出できなかったことを御諒解願います。

'82. 4○幻想文学 1 幻想文学会出版局

砂の本〔書評〕 高田政直 p 85

'82. 5○PLAZA 6 憐イベリア

場末とタンゴとボルヘス p 11

'82. 5○小さな町にて 野呂邦暢著

文芸春秋

ボルヘス「不死の人」 p 139

初出：週刊読書人 1284号 '66.6.4

'82. 5○そんなに沢山のトランクを

小島信夫著 創樹社

篠田氏とボルヘスのこと p 223

初出：◎世界の文学 9 集英社、

月報 27

'82. 5○異端審問 J. L. ボルヘス著

中村健二訳 晶文社 320,

xxip 19cm

城壁と書物 p 11

パスカルの球体 p 15

コウルリッジの花 p 20

コウルリッジの夢 p 25

時間とJ・W・ダン p 31

天地創造とP・H・ゴス p 36

アメリカ・カストロ博士の驚き

p 41

カリエゴ覚書 p 50

アルゼンチン国民の不幸な個人主義

p 54

ケベード p 58

『ドン・キホーテ』の部分的魅力

p 69

ナサニエル・ホーソーン p 75

ウォールト・ホイットマン覚書

p 105

象徴としてのヴァレリー p 115

エドワード・フィッツジェラルドの

謎 p 118

オスカー・ワイルドについて p 123

チェスタトンについて p 128

初期のウェルズ p 133

ジョン・ダンの『ビアタナトス』

p 137

パスカル p 142

夢の邂逅 p 147

ジョン・ウィルキンズの分析言語

p 153

カフカとその先駆者たち p 159

亀の化身たち p 163

書物崇拜について p 173

キーツの小夜鳴鳥 p 180

謎の鏡 p 186

二冊の本 p 192

一九四四年八月二十三日に対する註

解 p 198

ウィリアム・ベックフォードの『ヴ

ァセック』について p 201

『深紅の大地』について p 207

| | |
|------------------------------|-------|
| 有人から無人へ | p 214 |
| 伝説の諸型 | p 218 |
| アレゴリーから小説へ | p 224 |
| ラーヤモンの無知 | p 230 |
| バーナード・ショーに関する (に向 けての) 覚書 | p 237 |
| 歴史の謙虚さ | p 242 |
| 新時間否認論 | p 248 |
| エビローグ | p 275 |
| 原注 | p 277 |
| 訳注 | p 286 |
| ボルヘス—同一性の神話(中村健二) | p 313 |

| | |
|----------------------------|--------|
| 主題・用語索引 | 後 p i |
| 人名・書名索引 | 後 p ii |
| '82. 6〇国文学解釈と教材の研究 27 | |
| (9) 知の最前線・100冊の本 | |
| 学燈社 | |
| 伝奇集 ホルヘ・L・ボルヘス著〔書 評〕宇波彰 | p 58 |

| | |
|---|-------|
| '82. 7〇月刊 NIRA 7月増大 | |
| NIRA 総合研究開発機構 | |
| ボルヘス, 中国, そしてニューヨー カー 富士昌寿 | p 58 |
| '82. 9〇季刊銀花 51 文化出版局 | |
| バベルの図書館〈書物巡礼記〉 森 本哲郎 | p 164 |
| '82. 10〇旅人への贈り物—ボルヘス日 本滞在誌 佐伯彰一, 神吉敬 三編 法政大学出版局 190p 19 cm | |

I

| | |
|---------------------------------|------|
| 作家より読書家でありたかった (ボ ルヘス) | p 9 |
| 初出: 読売新聞 '79.11.12夕刊 | |
| 空想世界と交流する (徳岡孝夫) | p 12 |
| 初出: 毎日新聞 '79.11.13朝刊 | |
| 二十世紀のオイディプス(寺山修司) | p 15 |
| 初出: 毎日新聞 '79.11.13夕刊 | |
| 偉大な“旅人” ボルヘス—来日にあ たって (牛島信明) | p 20 |
| 初出: 東京新聞 '79.11.16夕刊 | |

| | |
|---|------|
| 迷宮の作家ボルヘス氏自己を語る | p 24 |
| 初出: 朝日新聞 '79.11.16夕刊 | |
| 「情熱と夢がベンを走らせる」—ボ ルヘス氏を囲んでパネルディスカ ッション | p 29 |
| 初出: 東京新聞 '79.12.5夕刊 | |
| 京都・奈良でのボルヘス (マリーア ・コダマ 鈴木喜代子訳) | p 31 |
| 初出: 読売新聞 '79.12.5夕刊 | |
| 毎日新聞ユニセフ募金に寄せて (ボ ルヘス) | p 37 |
| 初出: 毎日新聞 '79.12.13朝刊別 冊 | |

II

| | |
|-----------------------------------|------|
| ボルヘス氏に聞く (杉山晃) | p 41 |
| 初出: 〇ラテン・アメリカ時報 23(1)856 '80.1 | |
| アレフの午睡 (内田美恵) | p 61 |
| 初出: 〇遊 1011 '80.2 | |
| 迷宮の森をさまよって (杉山晃) | p 80 |

| | |
|-----------------------------|-------|
| 初出: 〇海 12(2) '80.2 | |
| 旅人への贈り物 (中村健二) | p 106 |
| 初出: 〇国際交流 23 '80.4 | |
| III | |
| ボルヘスは語る | p 127 |
| 初出: 〇朝日ジャーナル 22(9) '80.3 | |
| 「ティミド」な作家のための作家 (神 吉敬三) | p 144 |
| 初出: 〇朝日ジャーナル 22(9) '80.3 | |

IV

| | |
|--------------------------------|-------|
| ボルヘスの眼 (鼓直) | p 155 |
| ボルヘスと一夜(佐伯彰一) | p 160 |
| Bの話 (高橋康也) | p 166 |
| ボルヘスの手 (柳瀬尚紀) | p 170 |
| ボルヘス傍見記, または見出された 書物 (土岐恒二) | p 174 |
| ホルヘ・ルイス・ボルヘス滞在日誌 (井上隆邦) | p 179 |
| ボルヘス邦訳作品一覧 (中村健二) | p 185 |

- 初出一覧 p 188
 [あとがき] (中村・井上) p 190
 '82.10◎世界のオカルト文学幻想文学
 総解説 由良君美監修 自由
 国民社
 トレーン・ウクバル…現実世界の中
 へのナンセンスの侵入 村井文夫
 p 186
 '82.11◎天国・地獄百科 ホルヘ・ル
 イス・ボルヘス+アドルフォ
 ・ビオイニカサーレス著 牛
 島信明, 内田吉彦, 斎藤博士
 訳 書肆風の薔薇(叢書アン
 デスの風) 177p 19cm
 無償の愛を求めて(ティラー)ほか
 134篇
 '82.12◎文芸早稲田 6 早稲田大学

(注) 諸坂成利氏には'82.12早稲田大学文学部へ提出の“J. L. Borges と V. Na-
 bokov における《観念の凝縮性》について”と題する384枚の卒業論文がある。

- 創立百周年記念号 早稲田大
 学文芸研究室
 ボルヘス詩抄 諸坂成利訳 p 82
 (注)
 短歌 p 82
 エドガー・アラン・ポー p 83
 カムデン 一八九二 p 83
 王宮 p 84
 私 p 84
 リミテス p 85
 猫へ p 85
 自殺者 p 85
 あとがき p 86
 '82.12◎思想の冒険家たち 森本哲郎
 著 文芸春秋
 偉大なる読書家 ホルヘ・ルイス・
 ボルヘス p 157